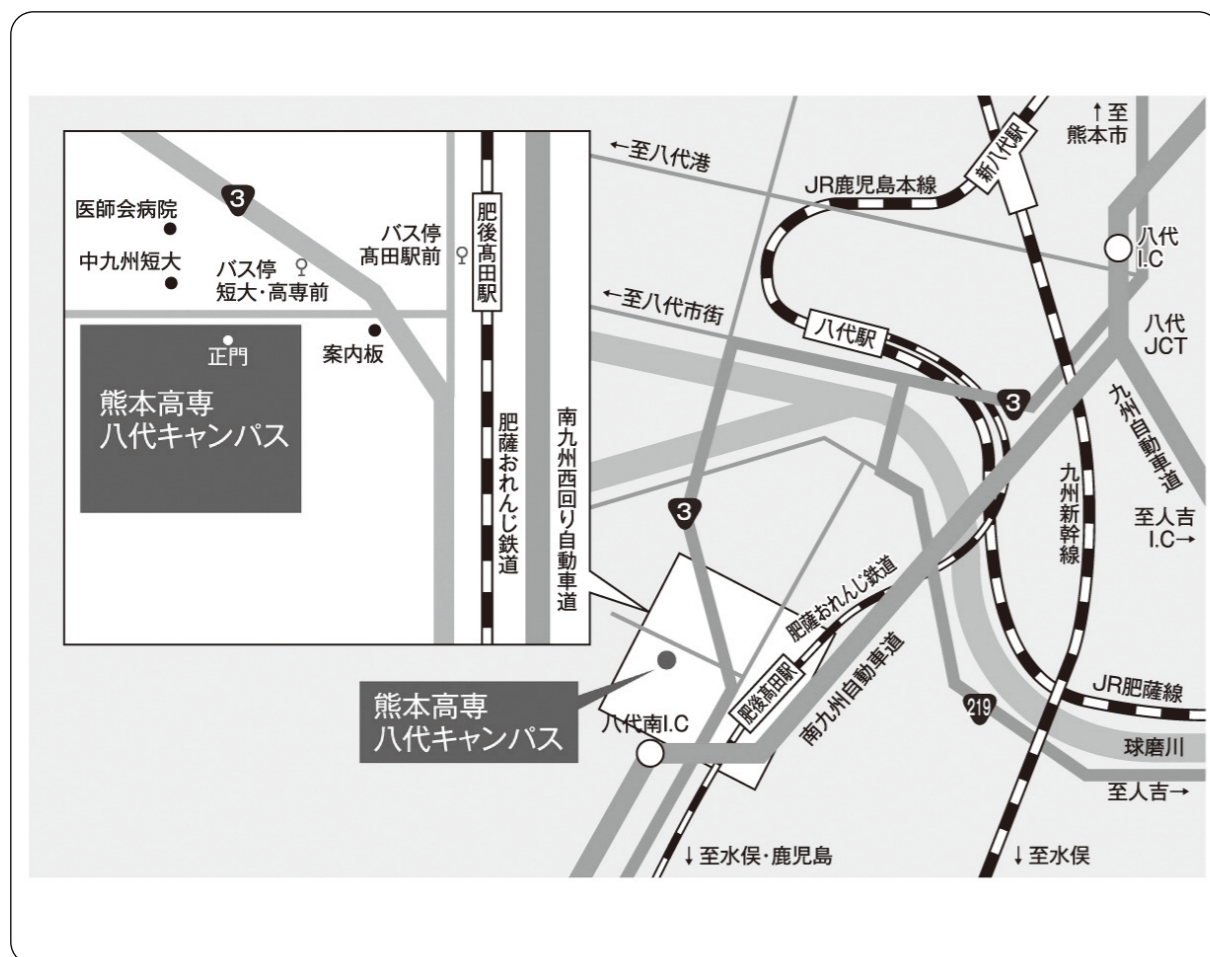


熊本高専 八代キャンパス案内図



平成24年度

# 国立熊本高専 専攻科 学生募集要項・入学案内

(出願書類添付)



## ■ 交通案内

- ① JR
  - ア. JR「新八代駅」から八代キャンパスまで約6.8km。
  - イ. JR「八代駅」から八代キャンパスまで約4.5km。
- ② 肥薩おれんじ鉄道
  - 肥薩おれんじ鉄道「肥後高田駅」から八代キャンパスまで徒歩10分。
- ③ 産交バス
  - 産交バス「八代駅前」下車。
  - ア. 「君ヶ淵」行き、「高田駅前」下車、徒歩10分。
  - イ. 「水俣」行き、「短大・高専前」下車、徒歩10分。

## (熊本高等専門学校熊本キャンパス)

〒861-1102 熊本県合志市須屋2659-2  
TEL (096)-242-6205 (学生課教務係)  
FAX (096)-242-5504  
<http://www.kumamoto-nct.ac.jp/>

## (熊本高等専門学校八代キャンパス)

〒866-8501 熊本県八代市平山新町2627  
TEL (0965)-53-1331 (学務課学生募集室)  
FAX (0965)-53-1239  
<http://www.kumamoto-nct.ac.jp/>

## 1. 熊本高等専門学校 の 理念

熊本高等専門学校は、専門分野の知識と技術を有し、技術者としての人間力を備えた国際的にも通用する創造的な技術者の育成及び科学技術による地域社会への貢献を使命としています。

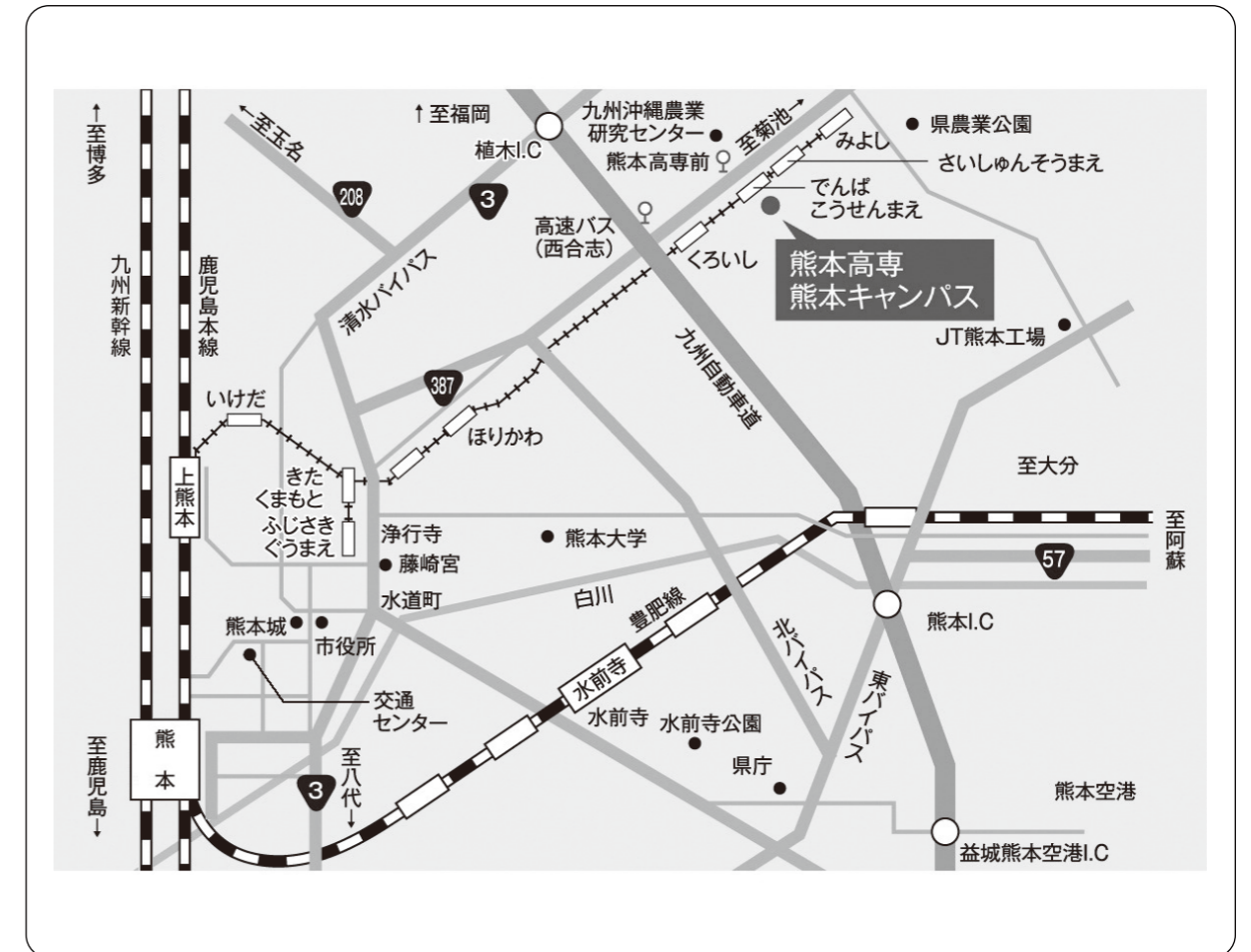
## 2. 専攻科の目的

専攻科は、急速に進む科学技術の高度化と国際化に対応するために、高等専門学校の教育で修得した実践的技術をさらに深めた教育を実施するものであって、特定の専門工学領域におけるより高度の知識・素養とともに複合領域に対応できる幅広い視野を身につけた実践的・創造的技術者の育成を目的としています。

## 3. 専攻科の教育目標

専攻科は、本校の理念に基づき、技術者としての広い視野と科学技術の基礎的な知識及び専門分野の知識と技術を有し、技術者として必要なコミュニケーション能力と倫理観を備え、様々な問題の解決に主体的に取り組むことのできる実践的技術者の育成を教育目標としています。

熊本高専 熊本キャンパス案内図



### ■ 交通案内

#### ① 熊本電鉄 (バス)

- ア. JR「熊本駅」から北1・北3系統の菊池温泉行又は菊池プラザ行 (田島経由を除く。)に  
乗車 (約40分)。「熊本高専前」下車、徒歩2分
- イ. 熊本市内の交通センター (乗り場18番) から北1・北3系統の菊池温泉行又は菊池プラザ  
行 (田島経由を除く。)に乗車 (約30分)。「熊本高専前」下車、徒歩2分

#### ② 熊本電鉄 (電車)

- ア. 「藤崎宮前」から御代志行に乗車 (約25分)。「電波高専前」下車、徒歩2分
- イ. 「上熊本」から北熊本行に乗車 (約10分)。「北熊本」で御代志行に乗り換え (約20分)、  
「電波高専前」下車、徒歩2分

#### ③ 九州自動車道バス

- 「西合志」下車、徒歩約25分。又は、下車後、最寄りの熊本電鉄 (バス)「黒石下」か (電  
車)「三石」に乗り換え (約3分)「電波高専前」下車徒歩2分

#### ④ 阿蘇くまもと空港から車で約40分

# 目 次

## 学生募集要項

I. 専攻科のアドミッションポリシー	1
II. 募集人員	1
III. 選抜方法及び日程	1
IV. 入学手続	1
V. その他の注意事項	2
VI. 個人情報の利用目的	2
VII. 入学志願についての問い合わせ	2

## 【電子情報システム工学専攻】募集要項

1. 専攻科修了要件の確認について	5
2. 推薦による選抜	
2.1 出願資格	5
2.2 願書の受付	5
2.3 出願手続	6
2.4 選抜の方法	7
2.5 合格者の発表	7
2.6 入学確約書の提出	7
2.7 入学手続	7
2.8 推薦選抜に合格しなかった 人の学力検査受験について	7
3. 学力検査による選抜	
3.1 出願資格	8
3.2 出願手続	8
3.3 選抜の方法	9
3.4 合格者の発表	10
3.5 入学確約書の提出	10
3.6 入学手続	10
4. 社会人特別選抜	
4.1 出願資格	10
4.2 出願手続	10
4.3 選抜の方法	12
4.4 合格者の発表	12
4.5 入学確約書の提出	12
4.6 入学手続	12
5. 個人情報の取扱い	12

## 入学案内

1. 学士の学位取得方法	13
2. 入学時に必要な諸経費	13
3. 入学料・授業料免除及び 奨学金貸与制度	13
4. 学生寮	14
5. 電子情報システム工学専攻の概要	
5.1 修業年限及び修了要件	14
5.2 専攻のカリキュラム構成	14
5.3 電子情報システム工学専攻 カリキュラム表	14
6. J A B E E（日本技術者教育認定機構） 対応教育プログラムと J A B E E 非対応 教育プログラムの概要	16

## 添付書類

- ① 専攻科入学願書
- ② 推薦書「推薦選抜用」
- ③ 推薦書「社会人特別選抜用」
- ④ 写真票・受験票
- ⑤ 調査書
- ⑥ 専攻科入学志願理由書  
(推薦選抜・社会人特別選抜用)
- ⑦ 受験承諾書(社会人特別選抜用)
- ⑧ 振込金受取書・振込受付書、振込依頼書
- ⑨ TOEICスコアによる専攻科学力選抜試験  
(英語)の免除申請書
- ⑩ あて名票

## 平成24年度専攻科生産システム工学専攻の 入学選抜について …… 44

### 【生産システム工学専攻】募集要項

1. 専攻科修了要件の確認について ……	45
2. 推薦による選抜	
2.1 出願資格 ……	45
2.2 願書の受付 ……	45
2.3 出願手続 ……	46
2.4 選抜の方法 ……	47
2.5 合格者の発表 ……	47
2.6 入学確約書の提出 ……	47
2.7 入学手続 ……	47
2.8 推薦選抜に合格しなかった 人の学力検査受験について ……	47
3. 学力検査による選抜	
3.1 出願資格 ……	48
3.2 願書の受付 ……	48
3.3 出願手続 ……	48
3.4 選抜の方法 ……	49
3.5 合格者の発表 ……	51
3.6 入学確約書の提出 ……	51
3.7 入学手続 ……	51
4. 社会人特別選抜	
4.1 出願資格 ……	52
4.2 願書の受付 ……	52
4.3 出願手続 ……	52
4.4 選抜の方法 ……	53
4.5 合格者の発表 ……	53
4.6 入学確約書の提出 ……	53
4.7 入学手続 ……	53

## 入学案内

1. 学士の学位取得方法 ……	54
2. 入学時に必要な諸経費 ……	54
3. 入学料・授業料免除及び 奨学金貸与制度 ……	54
4. 学生寮 ……	55
5. 生産システム工学専攻の概要	
5.1 修業年限及び修了要件 ……	55
5.2 コースの教育方針 ……	55
5.3 専攻のカリキュラム構成 ……	56
5.4 教育課程 ……	56
6. 日本技術者教育認定機構（JABEE） への取り組み ……	58

## 添付書類

- ① 専攻科入学願書
- ② 推薦書 **推薦選抜用**
- ③ 写真票・受験票
- ④ 専攻科入学志願理由書  
**推薦選抜・社会人特別選抜用**
- ⑤ 受験承諾書  
**社会人特別選抜用**
- ⑥ 振込金受取書・振込受付書・振込依頼書
- ⑦ TOEICスコアまたは実用英語技能検定  
(準2級以上)の申請書
- ⑧ あて名票

# 平成 24 年度 専攻科学生募集要項

## I. 専攻科のアドミッションポリシー

専攻科は、次のような人を広く求めています。

- (1) 技術の向上や新しいものの創造に対する意欲を持っている人
- (2) 科学技術の基礎知識及び専門分野の基礎的な知識と技術を持っている人
- (3) 日本語及び英語の基本的コミュニケーション能力が備わっている人
- (4) 社会への貢献意識を持っている人

## II. 募集人員

専攻名	コース名	キャンパス所在地	募集人員
電子情報システム工学専攻 (熊本キャンパス)	電子・情報技術応用工学コース 電子情報技術専修コース	熊本県合志市須屋2659-2	24名
生産システム工学専攻 (八代キャンパス)	機械システムコース 情報システムコース 建設システムコース 生物システムコース	熊本県八代市平山新町2627	24名
計			48名

## III. 選抜方法及び日程

入学者の選抜は、(1) 推薦による選抜、(2) 学力検査による選抜及び(3) 社会人特別選抜とし、次の日程で実施します。

区分	専攻	出願期間	試験実施日	合格発表日
(1)推薦選抜	電子情報システム工学専攻	5月6日(金)～5月10日(火)	5月13日(金)	5月18日(水)
	生産システム工学専攻	5月16日(月)～5月20日(金)	5月27日(金)	6月3日(金)
(2)学力検査 選抜	電子情報システム工学専攻	5月16日(月)～5月20日(金)	5月28日(土)	6月1日(水)
	生産システム工学専攻			
	【前期日程】	6月2日(木)～6月8日(水)	6月17日(金)	6月21日(火)
	【後期日程】	9月8日(木)～9月14日(水)	9月22日(木)	9月30日(金)
(3)社会人 特別選抜	電子情報システム工学専攻	5月6日(金)～5月10日(火)	5月13日(金)	5月18日(水)
	生産システム工学専攻	9月8日(木)～9月14日(水)	9月22日(木)	9月30日(金)

## IV. 入学手続

合格者には、3月初旬に入学案内を送付します。入学手続きの期間(各キャンパス毎に異なります。)内に各キャンパスの募集要項に基づき、入学に要する諸手続を行ってください。この手続きを完了しない人は、入学を許可しません。

## V. その他の注意事項

- (1) 出願受付は、各キャンパス毎に行います。出願書類提出後、住所又は郵便受取先を変更したときは、直ちに、出願先の熊本高等専門学校熊本キャンパス学生課教務係又は熊本高等専門学校八代キャンパス学務課学生募集室に受験番号及び氏名をご連絡ください。
- (2) 選抜当日「受験票」を必ず携行してください。
- (3) 受験のための宿舍の斡旋はいたしません。
- (4) 受験票の返送が遅いと思われる場合には、熊本高等専門学校熊本キャンパス学生課教務係又は熊本高等専門学校八代キャンパス学務課学生募集室に問い合わせてください。

## VI. 個人情報の利用目的

入学志願者から提出された出願書類に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価などの入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のために利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査及び奨学金申請の審査
- (3) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

## VII. 入学志願についての問い合わせ

入学志願に関する問い合わせについては、下記まで書面又は電話にて照会してください。

### (熊本高等専門学校熊本キャンパス)

〒861-1102 熊本県合志市須屋2659-2

TEL (096) - 242 - 6205 (学生課教務係)

FAX (096) - 242 - 5504

<http://www.kumamoto-nct.ac.jp/>

### (熊本高等専門学校八代キャンパス)

〒866-8501 熊本県八代市平山新町2627

TEL (0965) - 53 - 1331 (学務課学生募集室)

FAX (0965) - 53 - 1239

<http://www.kumamoto-nct.ac.jp/>

# 電子情報システム工学専攻

## 募集要項 入学案内

(熊本キャンパス)





# 募 集 要 項

## 【電子情報システム工学専攻】

電子情報システム工学専攻に、「電子・情報技術応用工学コース（JABEE対応教育プログラム）」と「電子情報技術専修コース（JABEE非対応教育プログラム）」の二つの履修コースを置いています。コースの選択は、入学後に行います。

### 1. 専攻科修了要件の確認について

「電子情報システム工学専攻」においては、JABEE対応教育プログラム「電子・情報技術応用工学コース」とJABEE非対応教育プログラム「電子情報技術専修コース」があります。「電子情報技術専修コース」の修了には専攻科入学以前の学習履歴は関係ありませんが、「電子・情報技術応用工学コース」を修了するためには、本専攻が定める「電子・情報技術応用工学コース」の修了要件を満たさなければなりません。

募集要項の出願資格に定める専攻科に入学できる者であっても、「電子・情報技術応用工学コース」の修了要件を満たさない場合があります。このため、熊本キャンパスの本科以外から「電子情報システム工学専攻」を受験される場合は、出身校での取得単位について、本校の規定に従って認定を行い、JABEE対応教育プログラムの修了要件を満たすことが可能かどうかを確認いたします。従って、熊本キャンパスの本科以外から「電子情報システム工学専攻」を受験（推薦選抜、学力検査選抜、社会人特別選抜を問わず）し、「電子・情報技術応用工学コース」を専攻される方は、それぞれの入学願書受付開始期日の2週間前までに学生課教務係にお問い合わせください。

②：JABEE対応教育プログラム「電子・情報技術応用工学コース」及びJABEE非対応教育プログラム「電子・情報技術専修コース」については、**入学案内** 6.（16～21頁）を参照してください。

### 2. 推薦による選抜

#### 2.1 出願資格

- ① 平成24年3月に高等専門学校卒業見込みの者
- ② 第4学年の学年末の成績が在籍したクラスの上位2分の1以内であり、本校に入学する意志が強く、出身学校長が人物・健康ともに優れていると認め推薦する者
- ③ JABEE対応教育プログラム「電子・情報技術応用工学コース」を履修する者\*

※ **入学案内** 6.（16～21頁）を参照してください。熊本キャンパス以外の高等専門学校出身者は、出願前に学生課教務係に相談してください。

#### 2.2 願書の受付

- (1) 受付期間 平成23年5月6日(金) から 5月10日(火) まで(必着)
- (2) 受付時間 午前8時30分 から 午後5時00分まで
- (3) 受付場所 熊本高等専門学校熊本キャンパス学生課  
〒861-1102 熊本県合志市須屋2659-2

## 2.3 出願手続

### (1) 出願書類等

書類等	摘 要
① 入学願書 (推薦用)	本専攻所定の用紙を使用し、必要事項を記入したものを提出してください。
② 推薦書 (推薦用)	本専攻所定の用紙に出身学校長が作成したものを提出してください。
③ 志願理由書 (推薦用)	本専攻所定の用紙に本人が志願する理由を分かりやすく記入してください。
④ 写真票 受験票 (推薦用)	本専攻所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼ったものを提出してください。写真は、正面上半身脱帽(縦5cm×横3.5cm)で出願3か月以内に撮影したものを貼付してください。
⑤ 調査書	本専攻所定の用紙に出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。
⑥ 検定料	16,500円 本要項に添付の振込依頼書に必要事項を記入の上、銀行の窓口で振り込んでください。 なお、「振込金受取書(学校提出用)」を入学志願票の裏面に貼付してください。
⑦ あて名票	合格通知書等を受け取る住所、氏名、郵便番号を明記したものを提出してください。必ず2枚とも記入してください。
⑧ 返信用封筒	(郵送で出願する人のみ提出してください。) 本人の住所、氏名、郵便番号を明記し、350円の切手を貼付した定形封筒(角2)を提出してください。(受験票送付用)
⑨ その他	外国人が受験する場合、居住する市区町村長発行の「外国人登録済証明書」(在留資格が明示されたもの)を提出してください。

### (2) 出願に関する注意事項

- ① 郵送の場合は書留速達とし、封筒の表に「専攻科入学願書在中」と朱書してください。
- ② 出願書類等の不備、違式の場合は、受理しないことがあります。
- ③ 出願書類に虚偽の記載があったときは、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。
- ④ 願書受付後の記載事項の変更は認めません。
- ⑤ 願書受付後は、出願書類及び検定料は返還しません。ただし、次に該当した場合は、払込済の検定料を返還します。
  - ・検定料を振り込んだが、期限までに願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった場合
  - ・検定料を誤って二重に振り込んだ場合

#### ⑨ 返還請求の方法

返還請求の理由、志願者氏名(氏名の右側に押印)、現住所、電話番号、振込口座「銀行名、支店名、普通口座の口座番号、口座名義(ふりがなも記入)、志願者氏名と口座名義が異なる場合は志願者との続柄」を明記した検定料返還請求願(様式は問わない。)を作成し、必ず「振込金受取書・振込受付書(学校提出用)」を添付して速やかに請求してください。

※ 請求先 熊本高等専門学校八代キャンパス管理課財務係

電 話 0965-53-1228(直通)

⑥ 推薦入学者は、JABEE対応教育プログラム「電子・情報技術応用工学コース」の履修生となるので、コースの修了要件の一つであるTOEICスコア400点相当以上※の英語能力の資格を取得しないと修了できません。

※ ㉞ TOEICテスト（公開テスト、IPテスト、模擬試験のいずれかに）において400点以上の得点を得ること。

㉟ 実用英語技能検定試験準2級に合格すること。

㊱ 実用英語技能検定試験2級一次試験において50%以上の正答率を得ること。  
（なお、一次・二次試験に合格するかどうかは問わない。）

㊲ 工業英語検定試験3級以上に合格すること。

## 2.4 選抜の方法

推薦入学者の選抜は、推薦書、調査書、及び面接の総合判定とします。

### ◆面接◆

① 日時 平成23年5月13日（金）午後2時～

（当日は午後1時30分までに、受験票を持参し、熊本高等専門学校熊本キャンパス学生課ロビーに集合すること。）

② 場所 熊本高等専門学校熊本キャンパス

## 2.5 合格者の発表

平成23年5月18日（水）午前9時に熊本高等専門学校熊本キャンパス内に掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を送付します。なお、推薦者あてに合否を文書で通知します。

また、電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

## 2.6 入学確約書の提出

合格通知書を受けた人は、平成23年5月25日（水）までに「入学確約書」を提出してください。なお、期限までに提出しない者は、入学を許可しません。

## 2.7 入学手続

合格者に、3月初旬に入学案内を送付します。平成24年3月7日（水）から3月9日（金）の間に、入学に要する手続きを行ってください。この手続きを完了しない人には、入学を許可しません。

## 2.8 推薦選抜に合格しなかった人の学力検査受験について

「推薦による選抜」の選考結果、合格しなかった者で「学力検査による選抜」を希望する者は、改めて、平成23年5月16日（月）から5月20日（金）までに次の手続きを行ってください。

① 入学願書（学力検査用）、写真票及び受験票（学力検査用）を提出し、受験票の交付を受けてください。

② 検定料16,500円を本要項に添付の振込依頼書で振り込み、「振込金受取書（学校提出用）」を提出してください。

### 3. 学力検査による選抜

#### 3.1 出願資格

- ① 高等専門学校を卒業した者又は平成24年3月卒業見込みの者
- ② 短期大学を卒業した者又は平成24年3月卒業見込みの者
- ③ 専修学校の専門課程を修了した者又は平成24年3月修了見込みの者のうち、学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
- ④ 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者又は平成24年3月修了見込みの者
- ⑤ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- ⑥ その他、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※ 「電子情報システム工学専攻」にはJABEE対応教育プログラムとJABEE非対応教育プログラムの二つの履修コースがあります。入学後、コースの選択を行います。

概要は、[入学案内](#) 6. (16～21頁)を参照してください。

#### 3.2 出願手続

##### (1) 願書受付

① 期 間	平成23年5月16日(月) ～ 5月20日(金)
② 時 間	午前8時30分から午後5時00分まで
③ 場 所	〒861-1102 熊本県合志市須屋2659-2 熊本高等専門学校 熊本キャンパス 学生課教務係

##### (2) 出願に必要な書類等

書 類 等	摘 要
① 入 学 願 書 (学力検査用)	本専攻所定の用紙に必要事項を記入したものを提出してください。
② 写 真 票 受 験 票 (学力検査用)	本専攻所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼ったものを提出してください。写真は、正面上半身脱帽(縦5cm×横3.5cm)で出願3か月以内に撮影したものを貼付してください。
③ 調 査 書	本専攻所定の用紙に出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 ただし、出願資格③により出願する者は、専修学校が発行する修業年限2年以上で、かつ修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上の専門課程を修了したことを証明する証明書を添付すること。 なお、出願資格④により出願する者は、最終学校の成績証明書をもってこれに代えます。
④ 受 験 承 諾 書	本専攻所定の用紙に、所属の長が作成したものを提出してください。(企業在籍者のみ)
⑤ 検 定 料	16,500円 本要項に添付の振込依頼書に必要事項を記入の上、銀行の窓口で振り込んでください。 なお、「振込金受取書(学校提出用)」を入学志願票の裏面に貼付してください。
⑥ TOEICスコアによる専攻科学力選抜試験(英語)の免除申請書	TOEICスコアによる専攻科学力選抜試験(英語)の免除資格を有し、免除を希望する人は、所定の用紙に記入してください。その際は、「公式認定証」又は「個人成績表」の写しを添付してください。
⑦ あ て 名 票	合格通知書等を受け取る住所、氏名、郵便番号を明記したものを提出してください。必ず2枚とも記入してください。
⑧ 返信用封筒	(郵送で出願する人のみ提出してください。) 本人の住所、氏名、郵便番号を明記し、350円の切手を貼付した定形封筒(角2)を提出してください。(受験票送付用)
⑨ そ の 他	外国人が受験する場合、居住する市区町村長発行の「外国人登録済証明書」(在留資格が明示されたもの)を提出してください。

### (3) 出願に関する注意事項

- ① 郵送の場合は、書留速達とし、封筒の表に「専攻科入学願書在中」と朱書してください。
- ② 出願書類等の不備、違式の場合は、受理しないことがあります。
- ③ 出願書類に虚偽の記載があったときは、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。
- ④ 願書受付後の記載事項の変更は認めません。
- ⑤ 願書受付後は、出願書類及び検定料は返還しません。ただし、次に該当した場合は、払込済の検定料を返還します。
  - ・検定料を振り込んだが、期限までに書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった場合
  - ・検定料を誤って二重に振り込んだ場合

#### ⑨ 返還請求の方法

返還請求の理由、志願者氏名（氏名の右側に押印願います。）、現住所、電話番号、振込口座〔銀行名、支店名、普通預金の口座番号、口座名義（ふりがなも記入してください。）、志願者氏名と口座名義が異なる場合は志願者との続柄〕を明記した検定料返還請求願（様式は問わない。）を作成し、必ず「振込金受取書・振込受付書（本人保存）」を添付して速やかに請求してください。

※ 請求先 熊本高等専門学校八代キャンパス管理課財務係  
電 話 0965-53-1228（直通）

## 3.3 選抜の方法

入学者の選抜は、学力検査、調査書の総合判定とします。

### (1) 学力検査科目

#### ① 一般科目

英 語 TOEICの点数による免除制度あり（下記⑨参照）

数 学 <線形代数、微分積分（微分方程式を含む。）>

#### ② 専門科目

下記の8科目の中から3科目選択すること。

電気磁気学、電気回路、電子回路、計算機工学、通信工学、半導体工学、制御工学、情報処理

⑨ 学力試験においては、TOEICの点数により英語の学力試験を免除し、TOEICの得点を英語の試験の得点として代替する制度を導入しています。この制度の適用を希望する人は、TOEICスコアによる専攻科学力選抜試験（英語）の免除申請書を提出してください。

1) 試験免除基準：試験日までの2年以内のTOEIC試験で350点以上

2) 英語点への変換：(100点換算時)

① TOEICの得点350点で英語の得点60点、TOEICの得点450点以上で英語の得点100点

② TOEICの得点351～449点に関しては次式により換算する。ただし、小数点以下は四捨五入  
(英語の得点) = 60点 + 0.4 × ((TOEICの得点) - 350点)

## (2) 学力検査の日時及び場所

期 間	科 目 等	時 間	場 所
平成23年5月28日(土)	英 語	9:00～ 9:40	熊本高等専門学校 熊本キャンパス
	数 学	9:55～10:35	
	専 門 科 目	10:50～12:20	

### 3.4 合格者の発表

平成23年6月1日(水)午前9時に熊本高等専門学校熊本キャンパス内に掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を送付します。

なお、電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

### 3.5 入学確約書の提出

合格通知書を受けた者は、平成23年10月3日(月)までに「入学確約書」を提出してください。なお、期限までに提出しない人には、入学を許可しません。

### 3.6 入学手続

合格者に、3月初旬に入学案内を送付します。平成24年3月7日(水)から3月9日(金)の間に、入学に要する手続きを行ってください。この手続きを完了しない人には、入学を許可しません。

## 4. 社会人特別選抜

### 4.1 出願資格

高等専門学校を卒業後、企業等に在職する者で、本校に入学する意志が強固であり、かつ、その所属の長が勤務成績・人物・健康ともに優れていると認め推薦する者

※「電子情報システム工学専攻」にはJABEE対応教育プログラムとJABEE非対応教育プログラムの二つの履修コースがあります。入学後、コースの選択を行います。

概要は、[入学案内](#) 6. (16～21頁)を参照してください。

### 4.2 出願手続

#### (1) 願書受付

① 期 間	平成23年5月6日(金) ～ 5月10日(火) (必着)
② 時 間	午前8時30分 から 午後5時00分 まで
③ 場 所	〒861-1102 熊本県合志市須屋2659-2 熊本高等専門学校 熊本キャンパス 学生課教務係

(2) 出願に必要な書類等

書 類 等	摘 要
① 入 学 願 書 (社会人用)	本専攻所定の用紙に必要事項を記入したものを提出してください。
② 推 薦 書 (社会人用)	本専攻所定の用紙に所属長が作成したものを提出してください。
③ 志 願 理 由 書 (社会人用)	本専攻所定の用紙に本人が志願する理由を分かりやすく記入してください。
④ 写 真 票 受 験 票 (社会人用)	本専攻所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼ったものを提出してください。 写真は、正面上半身脱帽(縦5cm×横3.5cm)で出願3か月以内に撮影したものを貼付してください。
⑤ 調 査 書	本専攻所定の用紙に出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。
⑥ 受 験 承 諾 書	(企業等に在職のまま入学を希望する人のみ提出してください。) 本専攻所定の用紙に所属の長が作成したものを提出してください。
⑦ 検 定 料	16,500円 本要項に添付の振込依頼書に必要事項を記入の上、銀行の窓口で振り込んでください。 なお、「振込金受取書(学校提出用)」を入学志願票の裏面に貼付してください。
⑧ あ て 名 票	合格通知書等を受け取る住所、氏名、郵便番号を明記したものを提出してください。 必ず2枚とも記入してください。
⑨ 返 信 用 封 筒	(郵送で出願する人のみ提出してください。) 本人の住所、氏名、郵便番号を明記し、350円の切手を貼付した定形封筒(角2)を提出してください。(受験票送付用)
⑩ そ の 他	外国人が受験する場合、居住する市区町村長発行の「外国人登録済証明書」(在留資格が明示されたもの)を提出してください。

(3) 出願に関する注意事項

- ① 郵送の場合は書留速達とし、封筒の表に「専攻科入学願書在中」と朱書してください。
- ② 出願書類等の不備、違式のもの、受理しないことがあります。
- ③ 出願書類に虚偽の記載があったときは、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。
- ④ 願書受付後の記載事項の変更は認めません。
- ⑤ 願書受付後は、出願書類及び検定料は返還しません。ただし、次に該当した場合は、払込済の検定料を返還します。

・検定料を振り込んだが、期限までに願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった場合

・検定料を誤って二重に振り込んだ場合

⑨ 返還請求の方法

返還請求の理由、志願者氏名(氏名の右側に押印願います。)、現住所、電話番号、振込口座〔銀行名、支店名、普通預金の口座番号、口座名義(ふりがなも記入してください。)、志願者氏名と口座名義が異なる場合は志願者との続柄〕を明記した検定料返還請求願(様式は問わない。)を作成し、必ず「振込金受取書・振込受付書(本人保存)」を添付して速やかに請求してください。

※ 請求先 熊本高等専門学校八代キャンパス管理課財務係

電 話 0965-53-1228(直通)

### 4.3 選抜の方法

社会人特別選抜は、推薦書、調査書、志願理由書、面接の総合判定とします。

#### ◆面接◆

- ① 日時 平成23年5月13日(金) 午後2時～  
(当日は午後1時30分までに、受験票を持参し熊本高等専門学校熊本キャンパス  
学生課ロビーに集合すること。)
- ② 場所 熊本高等専門学校熊本キャンパス

### 4.4 合格者の発表

平成23年5月18日(水) 午前9時に熊本高等専門学校熊本キャンパス内に掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を送付します。なお、推薦者あてに合否を文書で通知します。

また、電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

### 4.5 入学確約書の提出

合格通知書を受けた者は、平成23年5月25日(水)までに「入学確約書」を提出してください。

なお、期限までに提出しない人には、入学を許可しません。

### 4.6 入学手続

合格者に、2月初旬に入学案内を送付します。平成24年2月27日(月)から2月29日(水)の間に、入学に要する手続を行ってください。この手続きを完了しない人には、入学を許可しません。

## 5. 個人情報の取扱い

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に掲載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- ① 入学後の教育・指導
- ② 入学料、授業料の免除申請の審査
- ③ 奨学金申請の審査
- ④ 授業料等諸納金の本校会計事務システムへの登録
- ⑤ 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究



# 入 学 案 内

## 1. 学士の学位取得方法

学士の学位は、大学評価・学位授与機構（以下「学位授与機構」という。）の認定を受けた高等専門学校  
の専攻科で2年以上にわたって62単位以上を修得し、学位授与機構の審査に合格した者が取得  
できます。

本専攻は、平成21年度に学位授与機構の認定を受けました。修了生は学位授与機構の審査を受  
け、学士の学位を取得することができます。

なお、学位授与機構に学士の学位を申請するときは、学位審査手数料として25,000円（平成23  
年度）が必要となります。

## 2. 入学時に必要な諸経費（改定により、金額が変更になる場合があります。）

入学料	84,600円
授業料	117,300円（前期分）
年 額	234,600円を前期分（4月）と後期分（10月）に分けて納付します。

※ 授業料は、年額を一括納入することができます。

日本スポーツ振興センター災害共済制度保護者負担金 1,520円（年額）  
その他、教科書等購入費が必要です。

## 3. 入学料・授業料免除及び奨学金貸与制度

### (1) 入学料の免除・徴収猶予

入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者が死亡している場合、又は  
入学する者若しくはその学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けている場合など、  
特別な事情により入学料の納付が著しく困難と認められる者は、本人の申請に基づき、選考のうえ入  
学金の全額又は半額が免除される制度及び入学料の徴収を猶予される制度があります。

### (2) 授業料の免除

家庭の経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業・人物ともに優秀であると認め  
られる者は、本人の申請に基づき、選考のうえ授業料の全額又は半額が免除される制度があります。

### (3) 奨学金貸与

独立行政法人日本学生支援機構の規定に基づき、学業・人物ともに優れ、かつ、健康であって学資  
の支弁が困難と認められる者に対して、本人の申請に基づき、選考のうえ奨学金が貸与される制度が  
あります。

奨学金の貸与月額（平成23年度実施予定）

#### ○ 第一種奨学金（無利子）

自宅通学の場合は3万円又は4万5千円、自宅外通学の場合は3万円又は5万1千円から選択する

ことができます。

○ 第二種奨学金(有利子)

貸与月額は、3万円、5万円、8万円、10万円及び12万円から選択することができます。

## 4. 学生寮

学生寮に入寮を希望する者は、本人の申請に基づき、選考のうえ入寮を許可します。ただし、定員等の関係で入寮が許可されない場合があります。入寮を認められた場合、寮生活の全般にわたって本科生と同じ学寮日課、学寮規則を守らなければなりません。

学生寮の経費

寄宿料	800円(月額)	毎月徴収します。
食費	1,000円(日額)	給食日数により、精算します。
寮費	2,800円(月額)	毎月徴収します。(9月を除く。)
※ 2月・3月分は、2月に徴収します。		

## 5. 電子情報システム工学専攻の概要

### 5.1 修業年限及び修了要件

- (1) 修業年限 2年
- (2) 修了要件

※ 「電子・情報システム工学応用コース」と「電子情報技術専修コース」の各コースで定めた要件を満たす必要があります。詳しくは、[入学案内](#) 6. (16～21頁)を参照してください。

### 5.2 専攻のカリキュラム構成

本専攻は、柔軟な創造工夫をもって未知なる複合領域の課題にも対応できる実践的・高度技術者の育成を目標として、電子、情報、通信、制御の4核からなる準学士課程のICT技術の基礎を融合した総合・専門基盤科目群を中心に、幅広い応用専門科目と問題解決型演習など、創造性・デザイン能力を育成する共同教育科目群からなる教育カリキュラムで構成されています。

### 5.3 電子情報システム工学専攻 カリキュラム表

# 電子情報システム工学専攻 カリキュラム表

(学年別配当表)

区分1	区分2	授業科目	種別	単位数	修得単位数	学年別配当			
						1年次		2年次	
						前期	後期	前期	後期
必修科目	総合基盤	起業化と社会	講義	2	2	2			
		創造性工学	講義	2	2	2			
		ヒューマンインターフェース技術	講義	2	2	2			
		感性情報工学	講義	2	2		2		
		技術者倫理	講義	2	2	2			
	コミュニケーション	コミュニケーション英語	講義	2	2		2		
		技術英語	演習	2	2			1	1
		技術表現特論	演習	2	2			1	1
	研究実験	創成技術デザイン実習	実習	2	2	1	1		
		システム工学特別研究	実験	10	10		2	4	4
小計				28	28	9	7	6	6
選択科目	専門基盤	デジタル信号処理工学	講義	2	14 単位 以上		2		
		物理数学	講義	2		2			
		数値計算論	講義	2				2	
		離散数学	講義	2				2	
		応用物理科学	講義	2				2	
		材料工学	講義	2		2			
		計測と制御	講義	2		2			
		マルチメディア工学	講義	2		2			
		デジタル電子回路学	講義	2				2	
		情報工学基礎論	講義	2				2	
		画像情報処理工学	講義	2		2			
	電子通信系	回路システム学	講義	2		2			
		応用電磁気学	講義	2		2			
		デジタル通信システム工学	講義	2				2	
		光情報処理工学	講義	2				2	
		通信符号理論	講義	2				2	
		電子物性論	講義	2			2		
		電子デバイス工学	講義	2				2	
		集積回路工学	講義	2	2				
		表面電子工学	講義	2				2	
		波形伝送工学	講義	2				2	
		電磁波計測工学	講義	2			2		
	ネットワーク工学特論	講義	2			2			
	情報制御系	情報処理回路	講義	2	20 単位 以上			2	
		シミュレーション工学	講義	2				2	
		システム制御理論	講義	2		2			
		ロボット工学特論	講義	2				2	
		知的制御システム論	講義	2					2
		数理・OR工学	講義	2				2	
		ファジィ工学特論	講義	2					2
		アルゴリズム工学	講義	2					2
		画像工学総論	講義	2				2	
		ソフトウェア設計工学	講義	2				2	
		人間生体工学	講義	2		2			
	音響システム工学	講義	2				2		
	共同教育	インターンシップ実習1	実習	1		1			
		インターンシップ実習2	実習	2		2			
		インターンシップ実習3	実習	3		3			
		インターンシップ実習4	実習	4		4			
		プロジェクト実習	実習	2		2			
		研究技術インターン	実習	1			1		
	特別実習	特別実習セミナー	講義・演習	1~2			1~2		
	小計				84~85		84~85		
	開設単位数合計				107		103~107		
	習得単位数合計					62単位以上			

備考1. インターンシップ実習1、2、3、4及びプロジェクト実習は、1年前期又は後期で履修できる。開設単位数の欄では、1年前期に集計してある。

## 6. JABEE(日本技術者教育認定機構)対応教育プログラムとJABEE非対応教育プログラムの概要

今日の目覚ましい技術革新と技術の国際化にともなって、技術者の活躍の場も世界中に広がってきています。国際的に仕事をしていくためには、技術者としての実力を証明するために、国際的に通用する技術者資格が必要になってきています。そこで、技術者の教育プログラムの認定をすることで技術者教育を向上させるとともに、その教育プログラムが国際的に認められた水準に達している、つまり国際的に同等であることを示す必要がでてきました。

技術者教育の同等性を国際的に相互承認する制度として、ワシントン協定(Washington Accord)があります。これは、大学における技術者教育プログラムの実質的同等性を相互に承認するための協定です。ワシントン協定に加盟するために、平成11年11月に日本技術者教育認定機構(JABEE: Japan Accreditation Board for Engineering Education)が発足しました。そして、平成17年にワシントン協定への本加盟が認められ、JABEEの審査に合格した教育プログラムの修了者は、技術者としての教育を受けた者として国際的に認められることになりました。

JABEEが認定の対象とする技術者教育は、大学の学士レベルに相当する技術者育成のための基礎教育を対象としているため、高専では本科の4、5年と専攻科がこれに相当します。熊本高等専門学校熊本キャンパスには、JABEE対応教育プログラムとJABEE非対応教育プログラムがあります。JABEE対応教育プログラムは、平成17年にJABEEの認定を受けています。JABEEによって認定を受けた教育プログラムの修了生は技術士1次試験免除となり、修習技術者の国家資格が得られます。

表1 熊本キャンパスにおける教育プログラムの種類と名称

教育プログラムの種類	教育プログラムの名称
JABEE対応教育プログラム	電子・情報技術応用工学コース
JABEE非対応教育プログラム	電子情報技術専修コース

### 6.1 JABEE対応教育プログラム「電子・情報技術応用工学コース」の概要

熊本高等専門学校熊本キャンパスのJABEE対応教育プログラムである「電子・情報技術応用工学コース」(以下、本コース)は、JABEEの「電気・電子・情報通信及びその関連分野」基準に準拠したカリキュラムを設定しています。修了生は「電気電子部門」での修習技術者の資格を取得することができます。

#### (1) 学習・教育目標

本コースにおける学習・教育目標は、下記のとおりです。

##### (A) 日本語および英語のコミュニケーション能力

A-1 技術者として、分かりやすいきちんとした日本語での表現、技術報告書の作成、プレゼンテーションなどができる

A-2 英語による基本的な表現(英文読解、英作文、英会話)ができる

A-3 技術者としての英語のコミュニケーション能力を身につける

##### (B) コンピュータの基本的技術および工学への応用技術

B-1 コンピュータのハードウェアに関する基本的な働きを理解し、OSやプログラミング言語に関する基礎的な処理ができる

B-2 工学的な課題についてコンピュータを応用して解決することができる

**(C) 電子・情報系技術の基礎知識・能力**

C-1 数学、物理などの基礎的な知識・能力を身につけ、それを工学の分野で利用できる

C-2 電気回路、電子回路、電気磁気学などの電子・情報系専門基礎科目の知識・能力を身につける

C-3 基本的な測定機器の取り扱い、実験技術を身につける

**(D) 電子・情報系技術の一分野において専門技術に関する知識・能力**

D-1 通信技術・電子技術・制御技術・情報技術などの中から1分野の専門応用技術を身につける

D-2 人の行動・感性を工学に生かす技術を身につける

D-3 与えられた課題について、問題解決の過程を通じてデザイン能力を身につける

**(E) 創造性、チャレンジ性を発揮できる素養**

E-1 研究計画の立案、研究の進め方、結果の整理・考察など一連の技術開発手順を学習し、創造性を身につける

E-2 実験や研究途上で生じた新たな問題点の解決など、技術者として自主的に取り組むチャレンジ性を身につける

E-3 継続的に学習する習慣を身につける

E-4 企業実習、校内での実習を通じ、与えられた課題に対する実践的な能力を身につける

**(F) 人類への貢献意識を持ち、広い視野と倫理観を持った技術姿勢**

F-1 各国の言語を学びながら、それぞれの国の人々の文化、価値観などに触れる

F-2 社会の成立に不可欠な諸条件について基礎的知識を習得する。これにより、自分の人生の意義を探り、価値観の異なる他者との共存のありかたを考える

F-3 スポーツを通して広く教養を身につけ、社会性・協調性・チームワーク力を身につける

F-4 技術が人類社会に及ぼす影響、技術開発が人類社会に与える倫理的な問題について理解する

**(2) 履修対象者及び履修者**

**(履修対象者)**

本専攻は、熊本高等専門学校熊本キャンパス本科4年次から専攻科2年次までの4年間の課程を対象としています。本科の4・5年生のうち、専攻科に進学を希望する学生が履修対象者となるのは当然ですが、本科を卒業後に就職を希望する学生でも、何年か後に専攻科や大学へ入学または編入学してJABEE対応教育プログラムの履修者となる可能性があります。また、本科卒業後に大学へ編入学する学生は、編入先の大学でJABEE対応教育プログラムの履修者となることが考えられます。これらのことから、本科4・5年次の学生は全員がJABEE対応教育プログラムの履修対象者であり、それに対応した教育を受けることになります。

**(履修者)**

本専攻の履修者は以下のいずれかに該当する者とします。また、本コースの履修を希望する者は、専攻科進学後に履修登録届を提出する必要があります。

- ① 熊本高等専門学校熊本キャンパス本科を表2の条件を満たして卒業し、専攻科において本コースを履修する者
- ② 専攻科入学前に熊本高等専門学校熊本キャンパスの本科相当とみなせる他の教育機関で履修し、専攻科において本コースを履修する者。ただし、表2に定める単位及び授業時間を満たしていることが必要である。専攻科入学前に修得した科目については別途定める規則(19頁)により本コース修了に必要な科目としての認定を行う。この認定によっても、なお表2に定める条件を満足しない場合、専攻科委員会が次の指導を行う。
  - (a) 専攻科の科目を修得することにより、本コースの修了要件を満足する場合は、該当科目を選択させる。
  - (b) 専攻科の科目だけでは修了要件を満たさない場合、本科の科目履修または他大学(放送大学を除く。)の単位取得により本コースの修了に必要な科目を修得させる。なお、本科の科目履修生となるには、受講料が必要である。

表2 本専攻履修登録以前に修得しておくべき学習要件と専攻科で満たすべき授業時間

分類	本コース履修登録以前に修得しておくべき学習要件			JABEE修了要件(B)	専攻科で修得すべき授業時間(B)-(A)
	科目	単位数	授業時間(A)		
人文科学 社会科学 語学学習	国語	1単位以上	225時間以上	250時間以上	25時間以上
	英語	4単位以上			
	その他	4単位以上			
保健体育		2単位以上	2単位以上	—	—
数学・自然科学 情報技術	数学・物理・自然科学系	6単位以上	200時間以上	250時間以上	50時間以上
	情報技術系	4単位以上			
専門科目	専門基礎科目	6単位以上	650時間以上	900時間以上	250時間以上
	専門応用科目	8単位以上			
	実験系科目	6単位以上			
総合した要件		62単位以上	1200時間以上	1600時間以上	400時間以上

### (3) 修了要件

本コースを修了するためには、次の全てを満足する必要があります。

- ① 専攻科修了に必要な単位を習得すること。
- ② 124単位以上を修得すること。
- ③ 1600時間(1時間=60分)以上の授業時間を満たしていること。この1600時間の中には、人文・社会科学系(語学教育を含む)の授業時間250時間以上、数学・自然科学・情報技術系の授業時間250時間以上、及び専門分野の授業時間900時間以上を含んでいること。
- ④ 表3で指定する科目を全て修得し、学習・教育目標を達成していること。
- ⑤ 修了時まで、TOEICスコア400点相当以上の英語力を有すること。
- ⑥ 大学評価・学位授与機構より学位(学士)を取得すること。

(注) 本コースの履修生が専攻科を修了するためには、上記(3)①～⑤を満たす必要があります。

表3 電子・情報技術応用工学コースを修了するための条件

熊本キャンパス 本科				
選択 一般 科目	4年	法学, 経済学, 哲学, 社会学からいずれか1科目修得		
	5年	独語Ⅱ, 中国語, 国語Ⅱ, 英語Ⅱからいずれか1科目修得		
指定選択科目	情報通信工学科	電子工学科	電子制御工学科	情報工学科
	応用プログラムⅠまたは通信プロトコル工学のいずれか1科目修得	指定なし	指定なし	指定なし
専攻科				
自然科学系	物理数学, 離散数学, 応用物理学から2単位以上修得			
情報技術系	情報工学基礎論及び数値計算論から2単位以上修得		画像情報処理工学, 数理・OR工学, アルゴリズム工学から2単位以上修得	
専門科目	専門基盤から6単位以上, 電子通信系, 情報制御系選択科目から12単位以上修得			
プロジェクト実習	インターンシップ実習1, 2, 3, 4, プロジェクト実習からいずれか1科目修得			

## 「電子・情報技術応用工学コース」履修登録希望者の、他の高等教育機関等で修得した科目及び単位の認定に関する取り扱い規則

### 1. 科目及び単位の取り扱い

「電子・情報技術応用工学コース」(以下、本コース)履修登録希望者が他の高等教育機関等で修得した科目及び単位については、本規則の定めるところにより、本コースの修得科目及び修得単位とみなすことができる。

### 2. 取り扱いの手順

科目及び単位の修得の認定に関わる審議は専攻部会で行い、科目及び単位の修得の認定は学校長が行う。

### 3. 認定に必要な書類

科目及び単位の修得認定を受けるためには、次の書類を提出すること。

- (1) 単位認定願
- (2) 当該科目のシラバス(使用教科書名を含むこと。ただし、教科書を使用しない科目にあつては教科書名不要)及び成績証明書
- (3) 当該科目の授業時数(実時間)を証明する書類

### 4. 個別の認定条件

- (1) 本コース入学以前に熊本高等専門学校熊本キャンパス本科及び熊本高等専門学校熊本キャンパス本科以外の高等教育機関において修得した科目及び単位

熊本高等専門学校熊本キャンパス本科4年相当以上の学年において修得した科目であって、その内容が本コースの学習・教育目標達成に必要な学習内容と70%以上同じである場合、3.の「認定に必要な書類」を提出し、その成績評価が60点以上であれば、その科目及び単位の認定を本コース修了に必要な単位として認定する。成績評価が60点未満の場合、筆記試験を100点満点で実施し、60点以上であれば認定する。なお、ここで認定した科目及び単位は専攻科の修了要件には含めない。

(2) 放送大学の科目及び単位

放送大学で修得した科目及び単位は、本コースの修了に必要な科目及び単位として認定しない。

(3) 工業高校等において修得した科目及び単位

工業高校等から本科4年次に編入学した場合、編入学前に修得した科目及び単位は本コースの科目及び単位として認定しない。

## 6.2 JABEE非対応教育プログラム「電子情報技術専修コース」の概要

JABEE対応教育プログラムとは別に、「電子情報システム工学専攻」において、専攻する専門技術分野をより深く修め、本校の教育理念及び次に示す専修コースの教育目標を達成し、専攻科の修了要件を満たして修了するJABEE非対応教育プログラムがあり、これを「電子情報技術専修コース」(以下、専修コース)と呼びます。

(1) 専修コースの教育目標

専修コースでは、次の教育目標を設定しています。

- ① 高度開発型技術者(実践的技術に加えて柔軟な発想能力のある開発技術者)の育成
- ② 高度総合システム技術者(電子・情報技術を工学的産業技術に活用し、人間に快適なシステム化ができる技術者)の育成
- ③ 知的情報処理技術者(コンピュータ技術を知的情報処理技術に高めることができる創造性のある技術者)の育成
- ④ 国際性(国際的にも活躍できる人材)の育成
- ⑤ 知的柔軟性(工学的見地に片寄ることのない人間性・知見)の育成
- ⑥ 人類への貢献意識を持ったチャレンジ精神豊かな技術者の育成

(2) 専修コース入学対象者

専修コースでは、専攻する専門技術分野をより深く修め、専修コースの教育目標を達成して修了するものを対象としており、具体的には次のような者が該当する。なお、専修コースの履修を希望する者は、専攻科進学後に履修登録届を提出する必要があります。

- ① 広く教育環境を提供するために、「電子情報システム工学専攻」への進学以前にJABEE対応教育プログラム(「電子・情報技術応用工学コース」)で設定された学習・教育目標にしたがって教育を受けていなかったため(注1)、あるいは身体等の障害により、JABEE対応教育プログラムで設定する条件(単位数、授業時間、インターンシップ等)を達成することが困難な者で、「電子情報システム工学専攻」での学習意欲のある者
- ② JABEE対応教育プログラム修了要件にとらわれず、スペシャリストとしての学習を希望する者(注1)表2「本コース履修登録以前に修得しておくべき学習要件と専攻科で満たすべき授業時



間]において設定された「本コース履修登録以前に修得しておくべき学習要件」の単位数及び時間数を満たさず、かつ18頁の②. (a)、(b)の措置によってもこの単位数または時間数を満たすことが難しく、JABEE対応教育プログラムの修了が見込めない者

(3) 専修コース修了要件

専修コースでは、将来、研究者・高度コンピュータ技師として活躍できる、一分野でレベルの高い技術者を養成することを目標とする。したがって、専修コースの修了要件としては、専攻科修了に必要な単位を習得し、かつ以下のいずれか1項目以上の条件を満たさなければならない。

- ① 特別研究の評価が80点以上でかつ、外部研究発表2件相当以上であること。
- ② TOEICスコア500点(又は、実用英検2級あるいは工業英検2級)以上でかつ、コミュニケーション英語の評価が80点以上であること。
- ③ 第1級陸上無線技術士等、本校で定める難易度D又はEレベルの資格のうち、一つ以上の資格を取得すること。
- ④ 技術共通科目の専門基盤科目(デジタル信号処理、物理数学、材料工学、計測と制御、情報工学基礎論)のうち、2科目以上の評価が80点以上でかつ、専門科目の選択科目のうち2科目以上の評価が80点以上であること。



平成24年度 熊本高等専門学校  
専攻科入学願書

受験番号	※	志望専攻名	電子情報システム工学専攻			
選抜方法	1. 推薦選抜 2. 社会人特別選抜 3. 学力検査選抜			数字を○印で囲んでください		
志願者	ふりがな		男・女	生年月日	昭和 平成 年 月 日生	
	氏名					
	出願資格	高等専門学校 短期大学 専修学校			学科 学科	
		昭和・平成	年 月 日	卒業・卒業見込・修了・修了見込		
	ふりがな					
	現住所					
	郵便番号	〒	電話番号	( )	-	
	受験関係連絡先	〒	電話番号( ) -			
	学歴 及 び 職歴	昭和・平成	年 月 日			
		昭和・平成	年 月 日			
昭和・平成		年 月 日				
昭和・平成		年 月 日				
昭和・平成		年 月 日				
昭和・平成		年 月 日				
昭和・平成		年 月 日				
入寮希望の有無	有 ・ 無		いずれかを○印で囲んでください			
*勤務先	名称 (部課まで)					
	所在地	〒	電話番号( ) -			

(記入上の注意)

- ※印の受験番号欄は、記入しないでください。その他の欄は志願者が漏れなく記入してください。
- 楷書で正確かつ明瞭にペン書きしてください。
- 記載内容を訂正する場合は、訂正箇所を2本線で抹消し、押印の上、訂正内容を記載してください。
- 学歴・職歴欄は、高等学校又は高等専門学校入学から記入してください。
- \*勤務先欄は、企業等に在職のまま入学を志望する方のみ記入してください。

振込金受取書はここに貼ってください。

推薦選抜用

熊本キャンパス用

※ 受験番号

# 推薦書

平成 年 月 日

熊本高等専門学校長 殿

学校名

学校長名

職印

下記の者は、学業成績、人物ともに優秀であり、貴校専攻科入学者として相応しい資質を持つ者と認め推薦いたします。

記

氏名

在籍学科

志望専攻

電子情報システム工学専攻

生年月日 昭和・平成 年 月 日生

① 学業成績、特別活動

② 志望専攻に対する適性

③ 人物、生活状況

④ その他、参考事項

記入責任者の職・氏名

印



社会人特別選抜用

熊本キャンパス用

※ 受験番号

# 推薦書

平成 年 月 日

熊本高等専門学校長 殿

所在地

企業等名

所属長

職印

下記の者は、当社（機関）において勤務成績が優秀であり、貴校専攻科入学者として相応しい資質を持つ者と認め推薦いたします。

記

氏名

在籍学科

志望専攻

電子情報システム工学専攻

生年月日 昭和・平成 年 月 日生

① 勤務状況・態度

② 志望専攻に対する適性

③ 人物、生活状況

④ その他、参考事項

記入責任者の職・氏名

印





熊本キャンパス用

平成24年度 写真票		国立熊本高等専門学校 専攻科	
※ 受験 番号			
志望 専攻	電子情報システム工学専攻		
ふりがな 氏名 生年 月日	昭和 平成	年 月 日	生 日
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;">                 写真は出願3か月 以内に撮影した 正面、上半身脱帽 (縦5cm×横3.5cm) のものをのり付け すること。             </div>			

注. ※印の欄は記入しないでください。

推薦用

社会人用

熊本キャンパス用

平成24年度 受験票		※	
受験 番号			
志望 専攻	電子情報システム工学専攻		
氏名			
面接 試験 日時	(推薦による選抜) 平成23年5月13日(金) 午後2時～ (社会人特別選抜) 平成23年5月13日(金) 午後2時～		
専攻科(熊本キャンパス)		Tel 096-242-6205	

注 1. 氏名欄に氏名をはっきり記入してください。

2. ※印の欄は記入しないでください。

推薦用

社会人用

熊本キャンパス用

平成24年度 写真票		国立熊本高等専門学校 専攻科	
※ 受験 番号			
志望 専攻	電子情報システム工学専攻		
ふりがな 氏名 生年 月日	昭和 平成	年 月 日	生 日
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;">                 写真は出願3か月 以内に撮影した 正面、上半身脱帽 (縦5cm×横3.5cm) のものをのり付け すること。             </div>			

注. ※印の欄は記入しないでください。

学力検査用

熊本キャンパス用

平成24年度 受験票		※	
受験 番号			
志望 専攻	電子情報システム工学専攻		
氏名			
試験 日時	平成23年5月28日(土) 午前9時～		
専攻科(熊本キャンパス)		Tel 096-242-6205	

注 1. 氏名欄に氏名をはっきり記入してください。

2. ※印の欄は記入しないでください。

学力検査用

## 受験心得

1. この受験票は必ず持参してください。
2. 携帯電話等の持ち込みは禁止します。
3. 受験中検査執行者の指示に従わないとき又は不正行為があると認められたときは直ちに退場を命ずることがあります。
4. 集合時間（試験開始30分前）に遅れないように注意してください。
5. 連絡先

熊本高等専門学校熊本キャンパス  
学生課 教務係  
電話 096-242-6205

## 受験心得

1. この受験票は必ず持参してください。
2. 携帯電話等の持ち込みは禁止します。
3. 受験中検査執行者の指示に従わないとき又は不正行為があると認められたときは直ちに退場を命ずることがあります。
4. 集合時間（試験開始30分前）に遅れないように注意してください。
5. 連絡先

熊本高等専門学校熊本キャンパス  
学生課 教務係  
電話 096-242-6205

## 調 査 書

志望専攻	電子情報システム工学専攻			受験番号	※				
ふりがな				学 校 ・ 学科名	高等専門学校 短期大学 専修学校  学 科				
氏 名									
生年月日	昭和 平成	年	月	日生	昭和 平成	年	月	日	入学・編入学 転入学
性 別	男 ・ 女			昭和 平成	年	月	日	卒業・卒業見込 修了・修了見込	
成 績 証 明 書	出身学校所定の用紙 を使用し、当該学校 長が作成したものを 添付すること。 (成績評価を評語で 記入の場合は、評語 の評定基準を明示し てください。)	評 定 基 準	評 語	評点の範囲	学 科 内 席 次	学 年	席 次		
				点～ 点		1 年	人中 位		
				点～ 点		2 年	人中 位		
				点～ 点		3 年	人中 位		
				点～ 点		4 年	人中 位		
				点～ 点		5 年	人中 位		
卒業研究題目・要旨	(該当する人のみ記入してください。)								
在学中の状況									
上記のとおり相違ないことを証明する。									
平成 年 月 日									
学 校 名									
学校長名									
職 印									

(記入上の注意)

- ※印の欄は記入しないでください。
- 在学中の状況欄は、人物・課外活動・生活態度等を記入してください。







社会人特別選抜用

※受験番号

## 受 験 承 諾 書

平成 年 月 日

熊本高等専門学校長 殿

企業等名

所属長

印

下記の者が、貴校の専攻科入学試験を受験することを承諾します。

記

出願者氏名

生年月日 昭和 年 月 日  
平成

所属

在職期間 自 年 月 日 から

※ この受験承諾書は、企業等に在職のまま入学を希望する方は必ず提出してください。





振込金受取書・振込受付書  
(兼振込手数料受取書)  
(学校提出用)

平成	年	月	日	金額	円
				¥ 1 6 5 0 0	0
先方銀行	肥後銀行 八代支店				
お受取人	預金種目	普通	口座番号	1 8 6 2 8 6 5	
	(氏名)	独立行政法人国立高等専門学校機構 熊本高等専門学校 出納命令役 事務部長 川崎信之			
ご依頼人	(出願者氏名) 様				
備考	手数料				
振込金	現金・当座小切手等				
受入区分	預金払戻請求書・口座振替				

(銀行で切り離して下さい)

<取扱店> \_\_\_\_\_ 銀行 \_\_\_\_\_ 店

振込金受取書・振込受付書  
(兼振込手数料受取書)  
(本人保存)

平成	年	月	日	金額	円
				¥ 1 6 5 0 0	0
先方銀行	肥後銀行 八代支店				
お受取人	預金種目	普通	口座番号	1 8 6 2 8 6 5	
	(氏名)	独立行政法人国立高等専門学校機構 熊本高等専門学校 出納命令役 事務部長 川崎信之			
ご依頼人	(出願者氏名) 様				
備考	手数料				
振込金	現金・当座小切手等				
受入区分	預金払戻請求書・口座振替				

(銀行で切り離して下さい)

<取扱店> \_\_\_\_\_ 銀行 \_\_\_\_\_ 店

・本指定用紙以外の使用はできません。  
・自動振込機での振込はできません。

電信扱 振込依頼書

ご依頼日	平成	年	月	日	電信扱	手数料		科目	
先方銀行	肥後銀行 八代支店								
受取人	預金種目	普通	口座番号	1 8 6 2 8 6 5		振込金	金額	¥ 1 6 5 0 0	
	受取人	独立行政法人国立高等専門学校機構 熊本高等専門学校 出納命令役 事務部長 川崎信之							
ご依頼人	(フリガナ) 様							受入区分	現金・当座小切手等
ご依頼人	(出願者氏名)							振替科目	普通預金・当座預金
	(住所) 〒 _____ (電話) _____								

問い合わせ先:独立行政法人国立高等専門学校機構  
熊本高等専門学校八代キャンパス管理課財務係  
電話(0965)53-1228

<取扱店> \_\_\_\_\_ 銀行 \_\_\_\_\_ 店



平成 年 月 日

## TOEICスコアによる専攻科学力選抜試験（英語）の免除申請書

熊本高等専門学校長 殿

出願専攻名 電子情報システム工学専攻

氏 名 \_\_\_\_\_

TOEICテスト（(財)国際ビジネスコミュニケーション協会TOEIC運営委員会実施）において、下記のとおりスコアを取得しておりますので、専攻科学力選抜試験科目のうち、英語の学力試験の免除を申請します。

## 記

試験の種類	1. 公開テスト 2. IPテスト (いずれかに○印を付ける。)		
取得日	平成 年 月 日		
取得スコア	点	換算得点	※

## (記入上の注意)

1. 学力選抜試験日を基準に、2年以内に取得したスコアを記入してください。
2. 「公式認定証」又は「個人成績表」の写しを一部添付してください。
3. ※印の欄は記入しないで下さい。



# あて名票

<table border="1"><tr><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td></tr></table> <p style="text-align: center;">様方</p> <p>様</p> <table border="1"><tr><td>※受験番号</td></tr></table>	□	□	□	□	□	□	□	※受験番号	<table border="1"><tr><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td></tr></table> <p style="text-align: center;">様方</p> <p>様</p> <table border="1"><tr><td>※受験番号</td></tr></table>	□	□	□	□	□	□	□	※受験番号
□	□	□	□	□	□	□											
※受験番号																	
□	□	□	□	□	□	□											
※受験番号																	

この線から切り離して提出すること。

- このあて名票は、本校より受験者宛に通知する場合に使用するもので、番地まで楷書で正確に記入すること。
- 団地などに住んでいる場合は、〇〇団地〇〇号棟〇〇番と明記すること。
- 必ず2枚とも記入すること。
- ※印欄は、記入しないこと。



# 生産システム工学専攻

## 募集要項 入学案内

(八代キャンパス)

## 平成24年度専攻科生産システム工学専攻の入学者選抜について

専攻科生産システム工学専攻では、平成24年度の入学者選抜から、学力検査による選抜の「英語」については、筆記試験を実施しないでTOEICまたは実用英語技能検定(準2級以上)の成績による評価を実施します。(換算点は下記のとおりです。)

なお、詳細については、平成24年度専攻科学生募集要項48頁以降を参照ください。

### 記

1. 学力選抜(前期日程・後期日程)の学力検査日から起算して、2年以内に取得したTOEICスコア  
英語点への換算:

① TOEIC点350点で英語点60点、TOEIC点450点以上で英語点100点(満点)

② TOEIC点200点~445点に関しては次式により換算する。(200点以下は0点)

ただし、小数点以下は四捨五入

$$(\text{英語点}) = 60\text{点} + 0.4 \times ((\text{TOEIC点}) - 350\text{点})$$

2. 学力選抜(前期日程・後期日程)の学力検査日から起算して、2年以内に取得した実用英語技能検定準2級以上

英語点への換算:

実用英語技能検定準2級=70点、実用英語技能検定2級以上=100点(満点)

※ TOEICと実用英語技能検定を両方受験した場合は、英語への換算点の高い方を採用しますので、1. 2. いずれか換算点の高い方で申請してください。



# 募 集 要 項

## 【生産システム工学専攻】

生産システム工学専攻に、機械システムコース、情報システムコース、建設システムコース、生物システムコースの4コースを置いています。選抜にあたっては、4コース毎に行います。

### 1. 専攻科修了要件の確認について

生産システム工学専攻を修了するためには、本専攻が定める「生産システム工学」教育プログラムの修了要件を満たさなければなりません。募集要項の専攻科出願資格に定める専攻科に入学できる者であっても、本教育プログラムの修了要件を満たさない場合があります。このため、八代キャンパス以外から生産システム工学専攻を受験される場合は、出身校での取得単位について、八代キャンパスの規定に従って読み替えを行い、プログラムの修了要件を満たすことが可能かを確認します。従って、八代キャンパス以外から生産システム工学専攻を受験（推薦選抜、学力検査選抜、社会人特別選抜を問わず）する人は、それぞれの入学願書受付開始期日の2週間前までに八代キャンパス学務課学生募集室にお問い合わせください。

④：八代キャンパス「生産システム工学」教育プログラムについては、58～61頁を参照してください。

### 2. 推薦による選抜

#### 2.1 出願資格

平成24年3月に高等専門学校卒業見込みの者で、学校長が成績及び人物ともに優れていると認めて推薦する者

#### 2.2 願書の受付

- (1) 受付期間 平成23年5月16日(月) から 平成23年5月20日(金) まで  
※期間内必着のこと。(郵送の場合は郵送期間を十分に考慮してください。)
- (2) 受付時間 午前8時30分 から 午後5時00分 まで
- (3) 受付場所 熊本高等専門学校八代キャンパス学務課学生募集室  
〒866-8501 熊本県八代市平山新町2627

## 2.3 出願手続

### (1) 出願書類等

書類等	摘 要
① 入学願書	本専攻所定の用紙を使用し、必要事項を本人が記入してください。
② 写真票 受験票	本専攻所定の用紙を使用し、必要事項を本人が記入するとともに、写真を所定の位置に貼付してください。写真は、正面・脱帽・上半身（タテ40mm×ヨコ30mm）で出願以前3ヶ月以内に撮影したものを使用してください。
③ 成績証明書	出身学校所定の用紙を使用し、当該学校長が作成し厳封したもの。（成績の評価を標語で記入の場合は、標語の評点基準を明示してください。）
④ 志願理由書	本専攻所定の用紙を使用し、本人が志願する理由を明確にわかりやすく記入してください。
⑤ 推薦書	本専攻所定の用紙を使用し、出身学校長が作成したもの。
⑥ 検定料	16,500円 添付の振込依頼書により銀行の窓口で振り込みを行い、受領した振込金受取書を入学願書の裏面に貼付してください。
⑦ あて名票	合格通知書等を受け取る住所、氏名、郵便番号を明記したものを提出してください。必ず2枚とも記入してください。
⑧ 受験票 送付用封筒	受験票の郵送を希望する志願者は、市販の長形3号封筒に住所と氏名及び郵便番号を明記し、350円切手を貼付して提出してください。
⑨ その他	外国人は市区町村長の交付する外国人登録済証明書（在留資格が明示されたもの）を提出してください。

### (2) 出願に関する注意事項

- ① 郵送の場合は書留速達とし、封筒の表に「専攻科入学願書在中」と朱書してください。
- ② 出願書類等の不備、違式のものを受理しないことがあります。
- ③ 出願書類に虚偽の記載があったときは、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。
- ④ 願書受付後の記載事項の変更は認めません。
- ⑤ 願書受付後は、出願書類及び検定料は返還しません。ただし、次に該当した場合は、払込済の検定料を返還します。
  - ・検定料を振り込んだが、期限までに願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった場合
  - ・検定料を誤って二重に振り込んだ場合

#### ⑨ 返還請求の方法

返還請求の理由、志願者氏名（氏名の右側に押印）、現住所、電話番号、振込口座「銀行名、支店名、普通口座の口座番号、口座名義（ふりがなも記入）、志願者氏名と口座名義が異なる場合は志願者との続柄」を明記した検定料返還請求願（様式は問わない。）を作成し、必ず「振込金受取書・振込受付書」を添付して速やかに請求してください。

※ 請求先 熊本高等専門学校八代キャンパス管理課財務係

電 話 0965-53-1228（直通）

## 2.4 選抜の方法

推薦による入学者の選抜は、面接並びに出身学校長から提出された推薦書及び成績証明書の総合判定により行います。

### ◆面接◆

- ① 面接日時 平成23年5月27日(金) 午前10時50分から  
※午前10時30分までに受験票を持参し、熊本高等専門学校八代キャンパス 共通教育科目・管理棟大会議室に集合してください。
- ② 面接の場所 熊本高等専門学校八代キャンパス(熊本県八代市平山新町2627)

## 2.5 合格者の発表

平成23年6月3日(金) 午前10時00分、熊本高等専門学校八代キャンパスに合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を送付します。また、推薦学校長には判定の結果を文書で通知します。なお、合格者の受験番号を本校のホームページに掲載(当日の通信環境の変化等により遅れる場合があります)します。

(熊本高等専門学校八代キャンパスのホームページアドレス <http://www.kumamoto-nct.ac.jp/>)

※ 電話・ファックス等による判定結果の照会には、一切応じません。

## 2.6 入学確約書の提出

合格通知を受けた人は、平成23年6月13日(月)までに「入学確約書」を提出してください。なお、期限までに提出しない人は、入学を許可しません。

## 2.7 入学手続

合格者に、3月初旬に入学案内を送付します。平成24年3月23日(金)に出校し、入学に要する諸手続を行ってください。この手続きを完了しない人は、入学を許可しません。

## 2.8 推薦選抜に合格しなかった人の学力検査受験について

推薦による入学者選抜の結果、合格しなかった人で、学力検査による入学者の選抜を希望する人は、受験することができます。この場合は、学力検査による選抜の出願手続をあらためて行う必要があります。ただし、成績証明書及び外国人登録済証明書(外国人の場合)の再提出は必要ありません。

### 3. 学力検査による選抜

#### 3.1 出願資格

入学を志願できる人は、次の(1)から(6)のいずれかに該当する者とします。

- (1) 高等専門学校を卒業した者及び平成24年3月卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者及び平成24年3月卒業見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者又は平成24年3月修了見込みの者のうち、学校教育法第82条の10の規定により大学に編入学することができる者
- (4) 外国において学校教育における14年の課程を修了した者又は平成24年3月修了見込みの者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当諸外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- (6) その他高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

#### 3.2 願書の受付

##### (1) 受付期間

【前期日程】 平成23年6月2日(木) から 平成23年6月8日(水) まで

【後期日程】 平成23年9月8日(木) から 平成23年9月14日(水) まで

※ 期間内必着のこと。(郵送の場合は、郵送期間を十分に考慮してください。)

##### (2) 受付時間

午前8時30分 から 午後5時00分まで

##### (3) 受付場所

熊本高等専門学校八代キャンパス学務課学生募集室

(〒866-8501 熊本県八代市平山新町2627)

#### 3.3 出願手続

##### (1) 出願書類等

書類等	摘 要
① 入学願書	本専攻所定の用紙を使用し、必要事項を本人が記入してください。
② 写真票 受験票	本専攻所定の用紙を使用し、必要事項を本人が記入するとともに、写真を所定の位置に貼付してください。写真は正面・脱帽・上半身(タテ40mm×ヨコ30mm)で出願以前3ヶ月以内に撮影したものを使用してください。
③ 成績証明書	出身学校所定の用紙を使用し、当該学校長が作成し厳封したもの。(成績の評価を標語で記入の場合は、標語の評点基準を明示してください。)
④ TOEICスコア または実用英語技能検定 (準2級以上) の申請書	学力選抜における学力検査の「英語」については、筆記試験を実施しないでTOEICまたは実用英語技能検定準2級以上の成績による評価を実施します。以下の1)2)いずれかの証明書の写しを添付してください。なお、詳細については、平成24年度専攻科学生募集要項の学力検査の出題科目(50頁)を参照してください。 1) 学力選抜(前期日程・後期日程)の学力検査日から起算して、2年以内に取得したTOEICスコアの「公式認定証」または「個人成績表」の写し 2) 学力選抜(前期日程・後期日程)の学力検査日から起算して、2年以内に取得した実用英語技能検定準2級以上の合格証明書の写し
⑤ 検定料	16,500円 添付の振込依頼書により銀行の窓口で振り込みを行い、受領した振込金受取書を入学願書の裏面に貼付してください。
⑥ あて名票	合格通知書等を受け取る住所、氏名、郵便番号を明記したものを提出してください。必ず2枚とも記入してください。
⑦ 受験票 送付用封筒	受験票の郵送を希望する志願者は、市販の長形3号封筒に住所と氏名及び郵便番号を明記し、350円切手を貼付して提出してください。
⑧ その他	外国人は市区町村長の交付する外国人登録済証明書(在留資格が明示されたもの)を提出してください。

(2) 出願に関する注意事項

- ① 郵送の場合は書留速達とし、封筒の表に「専攻科入学願書在中」と朱書してください。
- ② 出願書類等の不備、違式のものを受理しないことがあります。
- ③ 出願書類に虚偽の記載があったときは、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。
- ④ 願書受付後の記載事項の変更は認めません。
- ⑤ 願書受付後は、出願書類及び検定料は返還しません。ただし、次に該当した場合は、払込済の検定料を返還します。
  - ・検定料を振り込んだが、期限までに提出しなかった又は出願が受理されなかった場合
  - ・検定料を誤って二重に振り込んだ場合

⑥ 返還請求の方法

返還請求の理由、志願者氏名（氏名の右側に押印）、現住所、電話番号、振込口座〔銀行名、支店名、普通口座の口座番号、口座名義（ふりがなも記入）、志願者氏名と口座名義が異なる場合は志願者との続柄〕を明記した検定料返還請求願（様式は問わない。）を作成し、必ず「振込金受取書・振込受付書」を添付して速やかに請求してください。

※ 請求先 熊本高等専門学校八代キャンパス管理課財務係

電 話 0965-53-1228（直通）

### 3.4 選抜の方法

学力検査による入学者の選抜は、学力検査及び出身学校長から提出された成績証明書の総合判定により行います。

(1) 学力検査日時

【前期日程】 平成23年6月17日(金) 午前10時00分 から

【後期日程】 平成23年9月22日(休) 午前10時00分 から

- ※ 午前9時30分までに熊本高等専門学校八代キャンパス共通教育科目・管理棟大会議室に集合してください。

(2) 学力検査の出題科目

コース名	出題科目(範囲)
機械システム コース	英語(100点) (注2) TOEICまたは実用英語技能検定の点数による換算点(下記注参照) 数学(100点) (1) 必修:微分積分、線形代数学 (2) 選択:次の分野のうちから1分野選択 ラプラス変換、フーリエ級数とフーリエ積分、複素関数論、ベクトル解析 専門科目(200点) 材料力学、機械工作論、熱力学、流体力学、電気電子回路の5科目のうち から3科目選択
情報システム コース	英語(100点) (注2) TOEICまたは実用英語技能検定の点数による換算点(下記注参照) 数学(100点) (1) 必修:微分積分、線形代数学 (2) 選択:次の分野のうちから1分野選択 ラプラス変換、フーリエ級数とフーリエ積分、複素関数論、ベクトル解析 専門科目(200点) 電磁気学、電気回路、電子回路、プログラミング、情報工学の5科目のうち から3科目選択
建設システム コース	英語(100点) (注2) TOEICまたは実用英語技能検定の点数による換算点(下記注参照) 数学(100点) (1) 必修:微分積分、線形代数学 (2) 選択:次の分野のうちから1分野選択 ラプラス変換、フーリエ級数とフーリエ積分、複素関数論、ベクトル解析 専門科目(200点) (1) 構造力学(必修) (2) 建設材料(必修) (3) 建築計画、建築環境工学、水理学、土質工学の4科目から2科目選択
生物システム コース	英語(100点) (注2) TOEICまたは実用英語技能検定の点数による換算点(下記注参照) 数学(100点) (1) 必修:微分積分、線形代数学 (2) 選択:次の分野のうちから1分野選択 ラプラス変換、フーリエ級数とフーリエ積分、複素関数論、ベクトル解析 専門科目(200点) 生物工学(生物学、化学) 生物学には生化学、細胞生物学、分子生物学を含む。化学には有機化学、 分析化学、物理化学を含む。

(注1) 熊本高等専門学校八代キャンパス以外からの志願者については、事前にコース内容についてお問い合わせください。

(注2) 学力検査においてはTOEICまたは実用英語技能検定の点数により英語の得点とします。

1) 学力選抜(前期日程・後期日程)の学力検査日から起算して、2年以内に取得したTOEICスコア

英語点への換算:

① TOEIC点350点で英語点60点、TOEIC点450点以上で英語点100点(満点)

② TOEIC点200点~445点に関しては次式により換算する。(200点以下は0点)

ただし、小数点以下は四捨五入

$$(\text{英語点}) = 60\text{点} + 0.4 \times ((\text{TOEIC点}) - 350\text{点})$$

2) 学力選抜(前期日程・後期日程)の学力検査日から起算して、2年以内に取得した実用英語技能検定準2級以上

英語点への換算:

実用英語技能検定準2級=70点、実用英語技能検定2級以上=100点(満点)

※ TOEICと実用英語技能検定を両方受験した場合は、英語への換算点の高い方を採用しますので、1) 2) いずれか換算点の高い方で申請してください。

(3) 学力検査の時間

科目名	時間
専門科目	10:00~12:00
数 学	13:00~14:20

(4) 学力検査の実施場所

熊本高等専門学校八代キャンパス(熊本県八代市平山新町2627)

### 3.5 合格者の発表

【前期日程】 平成23年 6月21日(火) 午前10時00分

【後期日程】 平成23年 9月30日(金) 午前10時00分

熊本高等専門学校八代キャンパスに合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を送付します。また、合格者の受験番号を本校のホームページにも掲載(当日の通信環境の変化等により遅れる場合があります)します。

(熊本高等専門学校八代キャンパスのホームページアドレス <http://www.kumamoto-nct.ac.jp/>)

※ 電話・ファックス等による判定結果の照会には一切応じません。

### 3.6 入学確約書の提出

合格通知書を受けた人は、前期日程については平成23年8月26日(金) までに、後期日程については平成23年10月28日(金) までに「入学確約書」を提出してください。

なお、この期限までに提出しない人は、入学を許可しません。

### 3.7 入学手続

合格者に、3月初旬に入学案内を送付します。平成24年3月23日(金) に出校し、入学に要する諸手続を行ってください。この手続きを完了しない人は、入学を許可しません。

## 4. 社会人特別選抜

### 4.1 出願資格

下記の(1)から(5)のいずれかに該当し、かつ企業等就業期間が出願時において1年以上ある者

- (1) 高等専門学校を卒業した者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち、学校教育法第82条の10の規定により大学に編入学することができる者
- (4) 外国において学校教育における14年の課程を修了した者
- (5) その他高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

### 4.2 願書の受付

- (1) 受付期間 平成23年9月8日(木) から 平成23年9月14日(水) まで  
※ 期間内必着のこと。(郵送の場合は、郵送期間を十分に考慮してください。)
- (2) 受付時間 午前8時30分 から 午後5時00分 まで
- (3) 受付場所 熊本高等専門学校学務課学生募集室  
(〒866-8501 熊本県八代市平山新町2627)

### 4.3 出願手続

- (1) 出願書類等

書類等	摘 要
① 入学願書	本専攻所定の用紙に、必要事項を記入したものを提出してください。
② 写真票 受験票	本専攻所定の用紙を使用し、必要事項を本人が記入するとともに、写真を所定の位置に貼付してください。写真は正面・脱帽・上半身(タテ40mm×ヨコ30mm)で出願以前3ヶ月以内に撮影したものを使用してください。
③ 成績証明書	出身学校所定の用紙を使用し、当該学校長が作成し厳封したもの。 (成績の評価を標語で記入の場合は、標語の評点基準を明示してください。)
④ 志願理由書	本専攻所定の用紙を使用し、本人が志願する理由を明確にわかりやすく記入してください。
⑤ 受験承諾書	本専攻所定の用紙を使用し、勤務先の所属の長が作成したもの。 (企業等の在籍者のみ)
⑥ 検定料	16,500円 添付の振込依頼書により銀行の窓口で振り込みを行い、受領した振込金受取書を入学願書の裏面に貼付してください。
⑦ あて名票	合格通知書等を受け取る住所、氏名、郵便番号を明記したものを提出してください。 必ず2枚とも記入してください。
⑧ 受験票 送付用封筒	受験票の郵送を希望する志願者は、市販の長形3号封筒に住所と氏名及び郵便番号を明記し、350円切手を貼付して提出してください。
⑨ その他	外国人は、市区町村長の交付する外国人登録済証明書(在留資格が明示されたもの)を提出してください。

- (2) 出願に関する注意事項

- ① 郵送の場合は書留速達とし、封筒の表に「専攻科入学願書在中」と朱書してください。
- ② 出願書類等の不備、違式のものを受理しないことがあります。
- ③ 出願書類に虚偽の記載があったときは、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。
- ④ 願書受付後の記載事項の変更は認めません。



⑤ 願書受付後は、出願書類及び検定料は返還しません。ただし、次に該当した場合は、払込済の検定料を返還します。

- ・検定料を振り込んだが、期限までに出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった場合
- ・検定料を誤って二重に振り込んだ場合

⑨ 返還請求の方法

返還請求の理由、志願者氏名（氏名の右側に押印）、現住所、電話番号、振込口座〔銀行名、支店名、普通口座の口座番号、口座名義（ふりがなも記入）、志願者氏名と口座名義が異なる場合は志願者との続柄〕を明記した検定料返還請求願（様式は問わない。）を作成し、必ず「振込金受取書・振込受付書」を添付して速やかに請求してください。

※ 請求先 熊本高等専門学校八代キャンパス管理課財務係

電 話 0965-53-1228 (直通)

#### 4.4 選抜の方法

社会人選抜による入学者の選抜は、口頭試問、面接並びに出身学校長から提出された成績証明書の総合判定により行います。

(1) 口頭試問及び面接日時 平成23年9月22日(木) 午前10時50分 から

※午前10時30分までに熊本高等専門学校八代キャンパス共通教育科目・管理棟大会議室に集合してください。

(2) 口頭試問及び面接の実施場所 熊本高等専門学校八代キャンパス(熊本県八代市平山新町2627)

#### 4.5 合格者の発表

平成23年9月30日(金)午前10時00分、熊本高等専門学校八代キャンパスに合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を送付します。また、合格者の受験番号を本校のホームページに掲載(当日の通信環境の変化等により遅れる場合があります)します。

(熊本高等専門学校八代キャンパスのホームページアドレス <http://www.kumamoto-nct.ac.jp/>)

※電話・ファックス等による判定結果の照会には一切応じません。

#### 4.6 入学確約書の提出

合格通知書を受けた人は、平成23年10月28日(金)までに「入学確約書」を提出してください。なお、この期限までに提出しない人は入学を許可しません。

#### 4.7 入学手続

合格者に、3月初旬に入学案内を送付します。平成24年3月23日(金)に出校し、入学に要する諸手続を行ってください。この手続きを完了しない人は、入学を許可しません。

# 入 学 案 内

## 1. 学士の学位取得方法

学士の学位は、大学評価・学位授与機構（以下「学位授与機構」という。）の認定を受けた高等専門学校の特攻科で2年以上にわたって62単位以上を修得し、学位授与機構の審査に合格した者が取得できます。

本専攻は、学位授与機構の認定を受けていますので、修了生は学位授与機構の審査を受け、学士の学位を取得することができます。

なお、学位授与機構に学士の学位を申請するときは、学位審査手数料として25,000円（平成23年度）が必要となります。

## 2. 入学時に必要な諸経費（改定により、金額が変更になる場合があります。）

入学料	84,600円
授業料	117,300円（前期分）
	年額234,600円を前期分（4月）と後期分（10月）に分けて納付します。
	※ 授業料は、年額を一括納入することができます。
日本スポーツ振興センター災害共済制度保護者負担金	1,520円（年額）
熊本県PTA災害見舞金	800円（年額）
教科書等購入費	約25,000円

## 3. 入学料・授業料免除及び奨学金貸与制度

### (1) 入学料の免除・徴収猶予

入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者が死亡している場合、又は入学する者若しくはその学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けている場合など、特別な事情により入学料の納付が著しく困難と認められる者は、本人の申請に基づき、選考のうえ入学金の全額又は半額が免除される制度及び入学料の徴収を猶予される制度があります。

### (2) 授業料の免除

家庭の経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業・人物ともに優秀であると認められる者は、本人の申請に基づき、選考のうえ授業料の全額又は半額が免除される制度があります。

### (3) 奨学金貸与

独立行政法人日本学生支援機構の規定に基づき、学業・人物ともに優れ、かつ、健康であって学資の支弁が困難と認められる者に対して、本人の申請に基づき、選考のうえ奨学金が貸与される制度があります。

奨学金の貸与月額（平成23年度実施予定）

○ 第一種奨学金（無利子）

自宅通学の場合は3万円又は4万5千円、自宅外通学の場合は3万円又は5万1千円から選択することができます。

○ 第二種奨学金（有利子）

貸与月額は、3万円、5万円、8万円、10万円及び12万円から選択することができます。

## 4. 学生寮

学生寮に入寮を希望する者は、本人の申請に基づき、選考のうえ入寮を許可することがあります。ただし、入寮を認められた場合、寮生活の全般にわたって学寮日課、学寮規則を守らなければなりません。

学生寮の経費

寄宿料	800円（月額）	半期分を4月、10月に納付します。
食費	28,500円（月額）	給食日数により、精算します。
寮費	5,400円（月額）	半期分を4月、10月に納付します。

## 5. 生産システム工学専攻の概要

### 5.1 修業年限及び修了要件

- (1) 修業年限 2年
- (2) 修了要件 学則に従い62単位以上修得すること。

「生産システム工学」教育プログラムの修了要件を満たすこと。

### 5.2 コースの教育方針

(1) 機械システムコース

機械システムコースは、機械、電気、電子、情報の各工学の基礎を学ぶことにより、それぞれが融合した境界領域の技術の発展にも寄与できる生産技術、システム設計、あるいは研究開発力を持つエンジニアを育成することを目的としています。

(2) 情報システムコース

情報通信と電子デバイスへの応用の基礎となる情報処理・電子物性・電磁エネルギーに関する工学の基礎を学ばせることにより、それぞれが融合した境界領域の科学技術の発展に寄与できる生産技術、システム設計、研究開発力を育成することを目的としています。

(3) 建設システムコース

建設システムコースは、土木工学と建築工学に関する専門知識を基礎にして、安全で豊かな環境を建設するために必要な材料・構造、設計・計画、環境・景観などの分野に関連する専門科目を

通して応用力を養います。また、地域の文化や環境及び実際の現場と関連付けた演習科目などを通して社会的責任感、使命感を養い、複雑化する社会の諸問題を総合的に判断し、地域社会に貢献できる実践力と指導力を持った技術者を育成することを目的としています。

#### (4) 生物システムコース

生物システムコースは、その母体となる本科での教育をさらに深め、幅広い工学分野の基礎の上に国際化に対応できる専門知識を養います。これにより、技術革新と多様化の著しいバイオ・ケミカルエンジニアリングの各分野での研究・開発・製造の各部門を相互に橋渡しでき、問題解決能力を持った実践的技術者を育成することを目的としています。

### 5.3 専攻のカリキュラム構成

専攻科では、これまでの教育カリキュラムを見直し、各コースによる専門工学の講義や実験・研究科目を充実させるとともに、幅広い技術分野での柔軟で複合的な能力を養う目的で4コース共通の人文・社会科学、数学・自然科学及び基礎工学の各区分での講義や実験実習を充実させました。

### 5.4 教育課程

生産システム工学専攻（八代キャンパス）の教育課程

# 生産システム工学専攻 カリキュラム表 (平成22年度以降入学者用)

区分1	区分2	授業科目	種別	単位数	修得単位数	学年別配当			
						1年次		2年次	
						前期	後期	前期	後期
必修科目	必修科目	比較文化論	講義	2	2				2
		郷土の文学と人間	講義	2	2			2	
		技術倫理	講義	2	2		2		
		技術開発と知的財産権	講義	2	2			2	
	コミュニケーション	上級英語	講義	2	2	2			
		科学技術英語	講義	2	2		2		
		スピーチ・コミュニケーション	演習	2	2			2	
	自然科学	線形代数学	講義	2	2	2			
		データ解析	講義	2	2		2		
		物理化学	講義	2	2	2			
		生命基礎科学	講義	2	2		2		
		地球環境科学	講義	2	2				2
	基礎工学	生産システム設計	講義	2	2				2
		生産デザイン論	講義	2	2			2	
		エネルギー基礎工学	講義	2	2				2
		複合材料工学	講義	2	2				2
		応用情報科学	講義	2	2	2			
		計算応用力学	講義	2	2	2			
		工業基礎計測	実験	2	2				
	実験研究	基礎工学演習	演習	2	2				
		特別演習	演習	2	2				2
		特別研究Ⅰ	実験	4	4				
		特別研究Ⅱ	実験	6	6				
		開設単位小計			52	52	30		22
	選択科目	機械システム	創造設計法	講義	2				2
数値設計工学			講義	2				2	
弾塑性理論			講義	2	2				
先端機能材料			講義	2				2	
流動論			講義	2		2			
熱移動論			講義	2		2			
エネルギーシステム			講義	2			2		
制御理論			講義	2	2				
デジタル制御			講義	2				2	
機械システム実験			実験	2				2	
情報システム		物性論	講義	2	2				
		情報代数学	講義	2			2		
		電磁気現象論	講義	2		2			
		電子物性デバイス論	講義	2		2			
		電子応用工学	講義	2				2	
		デジタルシステム	講義	2			2		
		情報伝送工学	講義	2				2	
		情報信号処理	講義	2		2			
		プログラミング技法	講義	2				2	
		情報システム実験	実験	2					
建設システム		建設素材工学	講義	2		2			
		構造解析学	講義	2				2	
		振動解析学	講義	2				2	
		地盤保全工学	講義	2	2				
		水環境工学	講義	2			2		
		地域計画論	講義	2		2			
		空間計画学	講義	2				2	
		住環境工学	講義	2			2		
		景観設計演習	演習	2				2	
		環境施設設計演習	演習	2	2				
生物システム		建設システム実験	実験	2				2	
		生命情報科学	講義	2			2		
		応用微生物学	講義	2		2			
		生物化学	講義	2	2				
		生物反応工学	講義	2				2	
		分離工学	講義	2			2		
		分子機能工学	講義	2			2		
		リサイクル技術	講義	2	2				
		環境分析技術	講義	2				2	
		生物システム実験	実験	2				2	
コース共通		地域経済論	講義	2	2				
		科学技術者と法	講義	2		2			
		電子計測技術	演習	1		1			
		情報通信技術	演習	1		1			
		創成演習	演習	1		1			
		エンジニア実践セミナー	講義	2		2			
		共同教育							
共同教育		インターンシップⅠ	実習	1~4		1~4			
		インターンシップⅡ	実習	1~4			1~4		
		応用研究プロジェクト	実習	2				学年に関係なく	
	研究技術インターン	実習	1				学年に関係なく		
学外	特別実習セミナー	講義・演習	1又は2				学年に関係なく		
	開設単位小計			98		41~50	48~57		
	開設単位合計			150		67~76	74~83		
	修得単位合計				62単位以上				

## 6. 日本技術者教育認定機構（JABEE）への取り組み

### 6.1 JABEE対応教育プログラム「生産システム工学専攻」の概要

#### (1) 教育プログラムの目的

生産システム工学専攻では、「変化する社会に柔軟に対応することのできる自立した実践的技術者の育成及び科学技術による地域社会への貢献を使命とする」という理念のもとに、「産業構造の複雑化・多様化に対応し、モノづくりの現場で“大局着眼、小局着手”を実行できる自立した実践的技術者を育成することを目標とする」という教育目標を掲げています。

この理念と教育目標に従い、「狭い専門分野に留まらず工学の基礎となる幅広い知識と技術を確実に身に付け、工学の諸分野に発生する諸問題を発見して解決できる能力を備えた技術者、豊かな人間性と規律を持つ技術者、そして柔軟さと好奇心をもって問題解決に積極的に向き合う技術者」を育成することを目的として、本科4年から専攻科2年までの4年間を対象とした“熊本高専「生産システム工学」教育プログラム”（以下、教育プログラム）を設定しています。

この教育プログラムは、日本技術者教育認定機構（JABEE：Japan Accreditation Board for Engineering Education）の「工学（融合複合・新領域）分野」基準に準拠したカリキュラムを設定しています。本校は平成17年度にJABEEの認定を受けました。JABEEによって認定を受けた教育プログラムの修了生は技術士1次試験免除となり、修習技術者の国家資格が得られます。八代キャンパスの教育プログラムの修了生は「応用理学」分野での修習技術者の資格を取得することができます。

#### (2) 教育プログラムの構成

教育プログラムは、八代キャンパスを構成する4学科（機械電気工学科、情報電子工学科、土木建築工学科及び生物工学科）と、1専攻（機械システム・情報システム・建設システム・生物システムの4コース）の、本科4年次から専攻科2年次までの4年間から構成されています。

#### (3) 教育プログラムの学習・教育目標

教育プログラムは、次の2つを教育の柱としています。

- (ア) さまざまな複合的技術要素を必要とするモノづくりの現場で、一人一人の最も得意とする専門工学分野の基本的素養を具体的なデザインや生産手法に活かすことのできるエンジニア教育
- (イ) 地域の社会や文化への理解と参加意欲をもち、地球的視点で物事を捉えられるエンジニア教育

このため教育プログラムでは、以下の(A)–(G)の7項目を「学習・教育目標」としています。7つの学習・教育目標は、それぞれ具体的なサブ項目に分かれています。

##### (A) 知徳体の調和した人間性を身につけた技術者

- A-1：幅広い知識を身につけ、地球的視点から問題を捉えることができる
- A-2：異文化を理解し、価値観の多様性を認識することができる

##### (B) 技術の基礎となる技能と知識を身につけた技術者

- B-1：工学の基礎となる数学・自然科学の基礎知識を身につける
- B-2：合理的な計測技術を選択し、データを収集できる

B-3: 情報を分析して評価し、適切な数理的処理を行ってわかりやすく提示できる

**(C) 複眼的な視点から問題を解決できる技術者**

C-1: 多様な専門分野の関連性を理解し、多面的に捉えることができる

C-2: 基礎知識を活用して工学的問題を理解し、説明できる

C-3: 基礎的な実験技術を用いて、実験を企画・実行して結果の分析・評価ができる

C-4: 得意とする分野の知識、技術と情報を駆使して、社会の要求に応じて問題解決の方法を企画、デザインすることができる

**(D) 技術のあり方に対する倫理観を身につけた技術者**

D-1: 科学技術に関する倫理的問題について理解し、指摘することができる

D-2: 実務上の問題を理解し、技術的・倫理的知識を適用することができる

**(E) 知的探求心を持ち、主体的に問題に取り組むことができる技術者**

E-1: 幅広い分野に知的好奇心と探求心を持って取り組むことができる

E-2: 研究や学習状況を把握・記録して自主的・継続的に学習できる

**(F) 基本的なコミュニケーション能力を身につけた技術者**

F-1: 日本語による適切な文章表現及び口頭の意味伝達ができる

F-2: 英語で書かれた技術文書の概要・要旨がつかめる

F-3: 研究の英文概要を書くことができ、発表資料などに英語を用いることができる

**(G) 社会性・協調性を身につけた技術者**

G-1: 社会参加への意欲と関心をもつことができる

G-2: グループでの活動に参加し、その中で協調して役割を果たせる

**(4) 教育プログラムの履修対象者**

教育プログラムの履修対象期間は、本科第4学年から専攻科第2学年までの4年間とし、履修対象者は当該期間の在籍学生です。従って、本科4年と5年の2年間は本教育プログラムの前半課程、専攻科の2年間は後半課程となります。また、本科4年への進級または編入学は教育プログラムへの入学となります。

本科から専攻科へ進学するためには専攻科入学試験を受験しなければなりません。また、本科5年を卒業後そのまま専攻科に進学する場合や、本科を卒業して一旦企業などに就職し、その後社会人選抜で専攻科に入学する場合など学生の進路は多様です。そこで教育プログラムでは、本校専攻科入学試験に合格し、専攻科に入学した者を教育プログラムの「履修生」として最終登録します。履修生は、専攻科修了までに学士の学位の取得を除く教育プログラムの修了要件を全て満たさなければなりません。

**(5) 教育プログラムの修了要件**

教育プログラムの修了要件は、「熊本高等専門学校「生産システム工学」教育プログラム履修規定」により、次のように定められています。

(ア) 学士の学位を取得すること

(イ) 教育プログラムの単位を124単位以上修得すること

(ウ) 口頭で自分の研究内容を発表できること、学外での発表を目指すこと。

- (エ) TOEIC (IPテストを含む) を受験し、400点程度を取得すること、あるいはそれに相当する実力を身につけること
- (オ) インターンシップを経験し、実践的な課題解決のための基礎力を身につけること
- (カ) 数学・自然科学及び数理的処理に関する総合試験に合格すること
- (キ) 教育プログラムにおける学習保証時間が1,800時間 (実時間) 以上であること
- (ク) 数学・自然科学・情報技術科目群のうち、「応用物理」、「応用数学」、「物理化学」、「線形代数学」、「データ解析」を含む7科目以上を修得していること
- (ケ) 基礎工学の次の5科目群について各科目群から少なくとも1科目を含む6科目以上修得していること。
  - a) 設計システム系科目群、b) 情報・論理系科目群、c) 材料・バイオ系科目群、
  - d) 力学系科目群、e) 社会技術系科目群
- (コ) 専門工学の次の4科目群のうち、達成度評価基準を満たして科目を修得していること。
  - a) 専門工学の知識と能力科目群
  - b) いくつかの工学の基礎的な知識・技術を駆使して実験を計画・遂行し、データを正確に解析し、工学的に考察し、かつ説明・説得する能力科目群
  - c) 工学の基礎的な知識・技術を統合し、創造性を発揮して課題を探究し、組み立て、解決する能力科目群
  - d) 技術者が経験する実務上の問題点と課題を理解し、適切に対応する基礎的な能力科目群

上記の修了要件のうち、要件(エ)の「TOEIC (IPテストを含む) を受験し、400点程度を取得すること、あるいはそれに相当する実力を身につけること」は、本科4年から専攻科2年までの教育プログラム履修対象期間内に「TOEIC試験成績375点以上、若しくは実用英語技能検定試験準2級合格」を意味します。

要件(オ)のインターンシップは、履修対象期間内に移動日や休日を除いて延べ14日以上経験することが必要です。

要件(カ)の「総合試験」は、専攻科在籍中に受験して合格することが必要です。

要件(キ)の学習保証時間には、250時間以上の人文・社会科学 (語学を含む)、250時間以上の数学・自然科学・情報技術及び900時間以上の基礎工学を含む専門工学の学習保証時間を含まなければなりません。

要件(ケ)と(コ)の科目群の詳細については、関連資料の“「生産システム工学」教育プログラム履修の手引き”または専攻科学生便覧を参照してください。なお、これらの科目群の各科目の合格基準は60点です。

## (6) 専攻科修了要件と教育プログラム修了要件

専攻科の修了には、教育プログラムの修了要件のうち、「1. 学士の学位の取得」を除く全ての要件を満たすことが必要です。



**(7) 他の高等教育機関で取得した単位及び編入学生が編入前に取得した単位の認定**

本校教育プログラムでは、次のような基準で他の教育機関で取得した単位を認定しています。なお、何れの場合でも、成績証明書やシラバス等により履修科目の内容を個別に審査します。また、学習保証時間を証明することが出来る書類の提出を別途求めます。

- (ア) 教育プログラム履修対象期間（本科4、5年及び専攻科1、2年）に相当する期間中に他大学などで取得した単位については、原則として、本校のプログラム単位としては認めていません。しかし、実施時数の証明や評価基準が公開されているなどの状況を考慮して、個々のケースを審議して教育プログラムの単位として認める場合もあります。
- (イ) 工業高校等（農業高校を含む）及び普通高校から本科4年次に編入学した場合、編入前に取得した単位は本校の教育プログラムの単位としては認めていません。
- (ウ) 専攻科入学資格を満たした本校以外の出身者で本校専攻科に入学した（教育プログラムに途中編入してきた）場合、本校専攻科入学前（教育プログラム編入学前）の出身校で取得した単位については、学習保証時間の証明やシラバスによる評価基準を基に審議して判定します。

**(8) 関連資料**

教育プログラム等の詳細については、本専攻のホームページを参照してください。

<http://y-page.y.kumamoto-nct.ac.jp/disclosure/jabee.html>



平成24年度 熊本高等専門学校  
専攻科入学願書

受験番号	※	志願専攻名	生産システム工学専攻 （コース）			
選抜方法	1. 推薦選抜 2. 学力検査選抜 3. 社会人特別選抜			数字を○印で 囲んでください		
志願者	ふりがな		男・女	生年月日	昭和 平成 年 月 日生	
	氏名					
	出願資格	高等専門学校 短期大学 専修学校			学科 学科	
		昭和・平成	年 月 日	卒業・卒業見込・修了・修了見込		
	ふりがな					
	現住所					
	郵便番号	〒	電話番号	( )	—	
	受験関係 連絡先	〒	電話番号( ) —			
	学歴 及 び 職歴		昭和・平成	年 月 日		
			昭和・平成	年 月 日		
		昭和・平成	年 月 日			
		昭和・平成	年 月 日			
		昭和・平成	年 月 日			
		昭和・平成	年 月 日			
		昭和・平成	年 月 日			
入寮希望の有無	有 ・ 無		いずれかを○印で囲んでください			
*勤務先	名称 (部課まで)					
	所在地	〒	電話番号( ) —			

(記入上の注意)

- ※印の受験番号欄は、記入しないでください。その他の欄は志願者が漏れなく記入してください。
- 楷書で正確かつ明瞭にペン書きしてください。
- 記載内容を訂正する場合は、訂正箇所を2本線で抹消し、押印の上、訂正内容を記載してください。
- 学歴・職歴欄は、高等学校又は高等専門学校入学から記入してください。
- \*勤務先欄は、企業等に在職のまま入学を志願する方のみ記入してください。

振込金受取書はここに貼ってください。

推薦選抜用

八代キャンパス用

※ 受験番号

# 推薦書

平成 年 月 日

熊本高等専門学校長 殿

学校名

学校長名

職印

下記の者は、学業成績、人物ともに優秀であり、貴校専攻科入学者として相応しい資質を持つ者と認め推薦いたします。

記

氏名 \_\_\_\_\_

在籍学科 \_\_\_\_\_

志願専攻 ( 生産システム工学専攻 \_\_\_\_\_ コース)

生年月日 昭和・平成 年 月 日生

① 学業成績、特別活動

② 志願専攻に対する適性

③ 人物、生活状況

④ その他、参考事項

記入責任者の職・氏名

印



八代キャンパス用

写真票

平成24年度 専攻科

受験番号	※
志願専攻名	生産システム工学専攻
志願コース名	コース
ふりがな	
氏名	
生年月日	昭和 平成 年 月 日生

写真

タテ 40mm

ヨコ 30mm

正面・脱帽・上半身  
で出願以前3ヶ月以  
内に撮影したものを  
貼付

熊本高等専門学校

八代キャンパス用

受験票

平成24年度 専攻科

受験番号	※
志願専攻名	生産システム工学専攻
志願コース名	コース
ふりがな	
氏名	
生年月日	昭和 平成 年 月 日生

選抜日時

【推薦選抜】

平成 23 年 5 月 27 日 (金) 午前 10 時 50 分

【学力検査選抜】

・前期日程 平成 23 年 6 月 17 日(金) 午前 10 時 00 分

・後期日程 平成 23 年 9 月 22 日(木) 午前 10 時 00 分

【社会人特別選抜】

平成 23 年 9 月 22 日(木) 午前 10 時 50 分

熊本高等専門学校

記入上の注意

- 1 ※印の欄は、記入しないこと。その他の欄は志願者が洩れなく記入すること。
- 2 正確かつ明瞭に楷書でペン書きすること。
- 3 記載事項を訂正する場合は、訂正箇所を二本線で抹消し、押印の上、訂正事項を記入すること。









## 受 験 承 諾 書

平成 年 月 日

熊本高等専門学校長 殿

企業等名

所属長

印

下記の者が、貴校の専攻科入学試験を受験することを承諾します。

記

出願者氏名

生年月日 昭和 年 月 日生  
平成

所 属

在職期間 自 年 月 日 から

※ この受験承諾書は、企業等に在職のまま入学を希望する方は必ず提出してください。



振込金受取書・振込受付書  
(兼振込手数料受取書)  
(学校提出用)

平成	年	月	日	金額	円
				¥ 1 6 5 0 0	0
先方銀行	肥後銀行 八代支店				
お受取人	預金種目	普通	口座番号	1 8 6 2 8 6 5	
	(氏名)	独立行政法人国立高等専門学校機構 熊本高等専門学校 出納命令役 事務部長 川崎信之			
ご依頼人	(出願者氏名) 様				
備考	手数料				
振込金受入区分	現金・当座小切手等 預金払戻請求書・口座振替				

(銀行で切り離して下さい)

<取扱店> 銀行 店

振込金受取書・振込受付書  
(兼振込手数料受取書)  
(本人保存)

平成	年	月	日	金額	円
				¥ 1 6 5 0 0	0
先方銀行	肥後銀行 八代支店				
お受取人	預金種目	普通	口座番号	1 8 6 2 8 6 5	
	(氏名)	独立行政法人国立高等専門学校機構 熊本高等専門学校 出納命令役 事務部長 川崎信之			
ご依頼人	(出願者氏名) 様				
備考	手数料				
振込金受入区分	現金・当座小切手等 預金払戻請求書・口座振替				

(銀行で切り離して下さい)

<取扱店> 銀行 店

電信扱 振込依頼書

ご依頼日	平成	年	月	日	電信扱	手数料	
先方銀行	肥後銀行 八代支店						
受取人	預金種目	普通	口座番号	1 8 6 2 8 6 5		振込金	金額
	受取人	独立行政法人国立高等専門学校機構 熊本高等専門学校 出納命令役 事務部長 川崎信之					複記
ご依頼人	(フリガナ) 様						
	(出願者氏名)						
	(住所) 〒 (電話) - -						
	振替科目						
	普通預金・当座預金						

問い合わせ先: 独立行政法人国立高等専門学校機構  
熊本高等専門学校八代キャンパス管理課財務係  
電話(0965)53-1228

・本指定用紙以外の使用はできません。  
・自動振込機での振込はできません。

科目	
----	--



平成 年 月 日

## TOEICスコアまたは実用英語技能検定(準2級以上)の申請書

熊本高等専門学校長 殿

生産システム工学専攻

出願専攻名 ( \_\_\_\_\_ コース)

氏 名 \_\_\_\_\_

TOEICテスト((財)国際ビジネスコミュニケーション協会TOEIC運営委員会実施)または実用英語技能検定((財)日本英語検定協会実施)において、下記のとおりスコアを取得または合格しておりますので申請します。

## 記

TOEIC	試験の種類	1. 公開テスト 2. IPテスト (いずれかに○印を付ける。)		
	取得日	平成 年 月 日		
	取得スコア	点	換算点	※ 点
実用英語 技能検定	合格級	1. 準2級 2. 2級以上 (いずれかに○印を付ける。)		
	取得日	平成 年 月 日		
			換算点	※ 点

(記入上の注意)

- TOEICまたは実用英語技能検定に合格した級のいずれか換算点の高い方で申請してください。(TOEIC、実用英語技能検定のいずれか一つの欄のみ記入)
- 学力選抜試験日を基準に、2年以内に取得したTOEICスコアまたは実用英語技能検定に合格した級を記入してください。
- TOEICスコアの「公式認定証」あるいは「個人成績表」の写し、または実用英語技能検定の合格証の写しを添付してください。
- ※印の欄は記入しないでください。





# あて名票

<table border="1"><tr><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td></tr></table> <p>様方</p> <p>様</p> <table border="1"><tr><td>※受験番号</td></tr></table>	□	□	□	□	□	□	□	※受験番号	<table border="1"><tr><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td></tr></table> <p>様方</p> <p>様</p> <table border="1"><tr><td>※受験番号</td></tr></table>	□	□	□	□	□	□	□	※受験番号
□	□	□	□	□	□	□											
※受験番号																	
□	□	□	□	□	□	□											
※受験番号																	

この線から切り離して提出すること。

- このあて名票は、本校より受験者宛に通知する場合に使用するもので、番地まで楷書で正確に記入すること。
- 団地などに住んでいる場合は、〇〇団地〇〇号棟〇〇番と明記すること。
- 必ず2枚とも記入すること。
- ※印欄は、記入しないこと。

